對滿國策逐行に

献身的努力希望

日米間無電

新機構實施を前に

現地の實情を調査

櫻井拓務政務次官談

視察のため拓務政務次官櫻井兵時議會を財魔に控へ急遽滿洲現

錦承北黑兩線

擴充方針を決立

南支經濟工作を目的

を加ふれば二十一億圓に塗した事は軍都この政治解抗働の大脈省原案に明年度の災害の大脈省原案に明年度の災害の大脈省原案に明年度の災害を加ふれば二十一億圓に塗し

る限り必とも之を拒否する必要はないるで、ない、尤も英國が我國さの同盟復活を衷心希望するに於いては我國は國策に反せたあるならば、絕對に耳を藉すべきでない、北本對策を左右せんとする交換的の魂膽を含むもので日英同盟復活就は近來頻に傳へられてゐるが、果とて英國政府の真意が何うか實體を捕捉し得るさえるまで到らない、孰れにしてってゐるが、之に對して我海軍當局の見解は左の如くである

るに於いては我國は國策に反せざ

綿糸布類

附加稅廢山

正稅に一部を織

込むむ

『東京特電十三日發』 軍線準備突涨行詰まりの折械叉とやロンドンに於いて日英同盟復活談が流布されて歐洲政界の話題とな

軍縮と交換の魂膽あらば反對

男 木 鈴 人行養 治代喜本橋 人相編 盛武 村本 人關印 地番一批阿闍公東市連大 社報日洲滿社會式標所行養

所 新京 室 町 二 丁 目 大阪住吉属アペノ 所四 大阪住吉属アペノ 所四 一 丁 目 中看板

廿二日迄に 豫算案決定

第三本年度鎌第三は偶職事項が多

時される筈

り商工協会の唯経会に出席した政治階局、大丸等な

十四日

附公布、二十二日施行

げふ参議府會議決定

を立てゝ、離れて來る雙臡は、ことから、崖にあたり、木立を押しから、崖にあたり、木立を押し

しい帯の芽が、たうさ

**麥員會** 聯盟委任統治

提出する性を可決したに関したの如き報告書を理事會にに関したの如き報告書を理事會に

委任統治地における飛行場設置等 歌聖委任統治委員會は日本の南洋歌聖委任統治委員會は日本の南洋

かつた場合は之を切離して決定す 關係上印刷の あるので運く

の直通連絡

な青春

(41)

滿臺交通の

元化實現

連絡會議の決定事項

さに決定大體明春四月一日より道並に朝鮮繊維さの うさする、追憶の影像を、

腰から脚にかけて

そのくせ

外氣に觸れたかつた。

か、大きく膨脹した、最も汚らは

山峡の曉は、やがて、瞬に塞ら窓を音のしないやうに閉けた。 かに純潔な花園な、鬱散らしたのな様み濃し、自分の聴で、ふくらを様み濃し、自分の聴で、ふくらな様のは自分の手で、心の白い花屋 踏みにどつたのは、異性ではな

も、みんな、踏みにじら 自尊心し

おうかさも、みんな、 けながら、限りない絶望を ・乳色の霧の、漠々たる 熊さは、一切を呑み干し、厳

に磨げられ



## 火害對策豫算ミ 億七千萬圓を承認 大藏省當局各省に内示 南工會議所を訪問の上

## 寛大なる査定 政治的考慮に基く

張實業部大臣

海軍々縮聯盟

要路に決議手交

五百萬圓ミい 本年度繁華總額より少なきこさ圏 本年度より悪化すべく、かくて除本年度繁華總額より少なきこさ圏 本年度より悪化すべく、かくて除さは魅されない、一方公儀部書も 実際の歌總に続してゐる

おて甲子園まテルに小憩の後大阪 議を手交らた より着阪、宜民多数の出迎へをう 大角海根、腐 長大阪特電十三日観七時半京都 前宇佐川少粉 東な織間野職

日英同盟說また喧傳

▲土生球介氏 (撫順炭礦經理陳倉 本小泉三郎氏 (滿洲國國務院需用 本小泉三郎氏 (滿洲國國務院需用

キング

わが海軍當局の見解 改正品

上方針は関映率欧正並に既談を整って、今回の欧の登底、日浦經濟プロック

の三點に改正方針を置き今回の改 要成な圖ること

安斯氏(滿藏建設局長)野菊仙氏外十一名 同上統部大連港視祭團輜重兵

從價關係を調整

日三十五種

**年駒高常氏(拓務省管理局長)** 

質力で キング・ウキスキー

**井良茶氏(政務次官秘書)** 地法人氏(同事務官)同上

長パレー氏は満洲國巌察の鳥の來紙ピコルタン・コチジャン縄戦局。 一氏動箭

> 氏(嘉納合名大連支 氏〈鐵路總局貨物主任

たったりを立ち軍めてる」がして、

あるにあられなかつた。

十錢均一國民保健藥三十種 前數視總監 丸山鶴 吉閣下後 援者代表

川三男三先生

健保日

御此此 デ 注 を標ル1 意にとの

彼女は、猫り

經調委員兼第一部主查 取締役〕同上歸連 ▲ 不內曾益氏 (大連涸脂工業專務事) 十三 古入港天津丸で來連事) 十三 古入港天津丸で來連

ばいかる丸船客に門司 か閣内一致さへ響東ない。 れた筈なのに、擧國一致ごころ間田内閣は擧國一致と終打つて 0

だ。順當に言ふなら、ひごく満

の 女が感ぜずにはあられない、無限 の 変響が、彼女から生活能な力を 一様脱し去るのだつた。

鰕水虫の薬

健見 咳どめ\*\*

駅かんの薬を解賞母散

健無臭ホルム散量

度セメン散

離ちの薬\*

彼女に

と自ら求めてゐたものに、彼には、悔いはなかつた。彼

反音さな、幾分でも持つてゐる男

健うがひ薬ニュ

解きづ藥 \* 触耳の藥 \*

鰕皮膚水\*

解皮 膚藥

館吸出し香

【新京十三日整園通】従来滿洲國 | 法を整備し、取数字總糸布城に對においては輸出入税の附加税さし して正税中にその一部を搬込み附においては輸出入税の附加税さし して正税中にその一部を搬込み附に対して 加税を微戦して いこさ、なつた

「若朽内閣」で嗤はれさう。

**船客諸氏** 

ります。
ります。

「糖素」で、無意識に吸び込みながらなかけ間けるやうにして、冷たいでない。土象色になった昼を、

寒備主計監)





突破の形勢である。

きの點がよう



職を受だが、要素の暴う先で公然での月曜の午後が最も期だしい、道に日曜を控へた土曜さば日明けの月曜の午後が最も期だしい、道に

の一般です、他族に関する一場の利示を行った がこれに能く成熟した北公賦が出 所動移飯田真兵衛巡査は関合後直 がこれに能く成熟した北公賦が出 の一般です、他族に関する一場の利示を行った

大連の傳達式怪漢

沼津御用邸へ

四二十二日午後

通俗學術

講演會

今夕七時から協和會館で

御下賜記念品

何んの

こさはない残臭

十三日午前九時寺田大津署長は署一腹愛の登職に警務主任は勿論、十三日午前九時寺田大津署長は署一腹愛の登職に警務主任は勿論、

有難き

疲労の御機嫌なく一同感激した連日の御統監にも揃らす些かも

恐喝事件求刑

の概式、群島開駅の傷寒軍人五百年を魅び野に御野立所附近に繁州に御校章人御栗の

二日養園通』飛毛平野に一於ける陸軍大演智は十三日

けさ大演習終了

の後午後九時大本營の大元帥陛下

課態長宮殿下して戦況報告師を選っての総監本部は愈々緊張、開院襲

に於いて大震智観兵式が暴行されに於いて大震智観兵式が暴行され

幼年、士官爾校生らに

た、大元嶋陛下には御統監を終へ 響き三日間に亘る演習の窓を閉ち 響き三日間に亘る演習の窓を閉ち

展開展軍主力部隊の最後の白兵車最後の決戦に入り一大近代戦

御菓子を賜ふ

使用の激増さ云ふ興味ある現

の風の趣画は邦人の以上の野浦 変化 な驚しノ滿洲に安住の概念に著るしい 乏しく所謂出稼心理さも

る習慣であった爲め市設共同墓地

昭賞移種な 和下管別 7九八七六五四三二二元数前 月年年年年年年年和数前 月間同同同同同同同同 即ち関東

電け は在連邦人は何れも直接右墓地には在連邦人は何れも直接右墓地に は在連邦人は何れも直接右墓地に は在連邦人は何れも直接右墓地に ない でき 師國 さ共に郷里に永孝す

人連神社參拜

村上氏本社を訪問

鄭重なる謝辭を述ぶ

引續き滿鐵其他市內各所を

歴訪

關釜連絡船

述べ、郷野主幹

深厚なる謝辭を

昌慶丸の事故

英船に觸れ引返す

五館以上の郷増を示してゐる。右即在私のもさに預つてゐる。右即不能の如く語る。

に於て午後七時五十六分着二三等 に疑似ベスト

**兩洲建國以來激增** 

共同墓地の使用者

平齊線傅家屯 部機關室を聴きれ四航海休んである。 例の風水害に一番大切な右肢中央 うらる丸入港

機能中である

では十三日大連へ では 一三日大連へ

本欄朝刊、夕刊共特別廣告の御取扱ひ

を致します精々御利用願います

洲日

シャンになって

20 電十三日 電子三日

て高等小學校の一時閉鎖を申合て高等小學校の一時閉鎖を申合工程則可以對於公庭の山程繁級議會の政代素策級議會 

ど色

大◆

STATE TO STATE OF STA

洋服の御用命は連鎖街マツヤ洋服店へ





大便秘· 排疾。 大便秘· 清於

す

風

豊田玄妙子

山口縣瑠璃山莊

**参料金初回** 

施法時間午前十時より午後七時近十一月十四日より二十一日迄 Ξ

度食ふ飯

核と虎眼を

**添鐵地方部が相談所を設け** 

來年から積極的に

**観行公判で鶮井椒祭官から左の如名にか、る恐鳴事件は十二日午後** 滅鐵理事及ひ正隆銀行重役を恐喝

田中義男CIMO 川臓前小髪核長宅に一夜を明じ十一社及び本社を通じて表現された一个成政男CIAO 十六番地(観刊南山麓に誤説)香 し縄野主総外各原部長さ会見じ本大郎氏は同夜友人の市内駅龍塞五 に大連神武に参拝の後本社に来訪らたの

大連署鼻ッ先の

を編ふ思発によって 動の低に離った闘さ

だけのカフスポタンな要

重大な。人道問題

鮮銀支店前の自轉車洪水に

修繕
と
欺い
て

八間様は車道

7

ヂオ機詐取

油斷ならぬ解雇店員

多く滿寒温暖の小り 交明病に以上に根常するさ 對して

本書の ・ できへ云はれこの 三〇%の多数を占めてゐるが高級 ・ 大ても平城一〇%滿人に於ては約 ・ 本年度搬査成績によれば内地人に しトラホームを経滅することを一

本年度より本天新京等の改統主要 本年度より本天新京等の改統主要 本年度より本天新京等の改統主要 本年度より本天新京等の改統主要 本年度より本天新京等の改統主要 本年度より本天新京等の改統主要 本年度より本天新京等の改統主要

殿下登野察官に一組づったかに右御下賜今

雑つまして大きな別遊さ思ったと云

過般女性さして空から最初の皇 の壯陽を完成した女流飛行士馬

**國**茶井三

たが、十三日午後六時三十分着に馬淵嶼の名妻ばかけて無く
でで、一ちであって来連することにな
たので火の出身地秋田縣人會で
に馬淵嶼の名妻ばかりで無く 方面より絶大なる鉄道を受けててふ子様は新京及奉天において

公然で毎日繰り返されてゐやうさ

大々的 に銀行されよう

してゐる際、先づこの邊から安

午頃二十歲位店員國市內初音町開家道氏

風の男が訪れて

さする経験を逮捕した、右は子二時頭沿津御用駅の石域を登り

人道は完全に占領され歩行者は通ら自転車の市が立つたやうに厳い

所持金全部を

投出した巡査

が独って初音町派

■の器械を持ち去の

早速やつて参

東北の惨狀に感じて

間ひ合せた結果

自轉車、自轉車の洪水で、

見るがいゝ自戦

会を期する必要はなからうか、警察の威能からも関係都市の健康からも関係都市の健康からも関係都市の健康が

は

西村洋服店

(十四十) 風の西北





でございます 御立ち寄り センオースト 願ひます テングストー

讀者優待割引券

滿洲日報社

名作「母の手」觀賞會

名作「母の手」觀賞會

大江プロではトーキー「雁來和」 大江プロではトーキー「雁來和」

讀者優待割引券

この券持参者は二十錢引

滿洲日報社

日活全發聲現代劇 『花嫁寝臺列車』

讀者階上八十錢

階下六十錢

故梅幸の愛犬 「雁來紅」に出演

水戶

それには及ばんし

鞭あてるさ、箭三郎は坂道に

勝を仰いだ。陽はずつさ加茂川の 来の方へ傾いてゐる。

以上が映画「中の手」の筋の組み立てて脱俗はゴンクール賞を乗へられた名俗「保電壁」の映画化である。この映画は「にんじん」以上の子供の心理描画さて破版の處画である。この映画化でなり、然もこの一

明日より議日活館で

大松竹の一つの流れてある新興の間候記さいふ駄にあるが何がさて

なってあるから鍛造にそつのあら

「いそげよ」 「から再び云つた。 かがみの触へ寄って、扇さ共に がながら、第三郎が、 「お館場」

「六月二日でごさいます」

一覧\* o

十曜寺の焼へかいつ

州

い気がするのであった。 い気がするのであった。 とい決心な眉字にもつて、趣に参

映重

と演藝

北面亂星(十三)

うに思いて行つた。そして、 ・ 記人の姿はそこになかつた。 ・ 記人の姿はそこになかつた。 ・ 記けるや 「あつ……」 をさもう他洞御所の東門に、 進ひ着い

北の中門の外に、お微行の風楽

舌

ヒガクレマシタ

日四十切封大 ウヨシルアシペスドンラグ

集全技々演主史女子蝶田飯



内地いりこ新荷着 御註文次第配達致ます 電話七九五六番 店

揃品ツク用寒防







日活超特作映畵二篇と共に

十四日より日活館で

演助氏ントスーユヒ×ータルオウ・嬢イロ×ナーマ・督監氏クイダンアヴ×S×W・版本日作特超ーヤーメ×ンイウドルーゴ×ロトメ

あてし愛らか心てし崩ち持を身に女ご酒がたつ成ご手選流一にり上鰻りなに家**闘拳が棒心用の場酒** てせさを合試のミラネルカミ彼てつ憤を信背の彼は目頭のダンヤギたし念斷く潔を女彼ふ失を妻る ○出る地イぐ斯!!るすどんさ斃にダンりを彼

世人巨。一界世

引下げ

について大きな欧正の行は

多い、これは各離品の顕像で 最素 者にあらざれば 雅ご 誤解 出 來の

電業會社々紋

滿洲鹽業會社

大綱決定す

十二日準備委員會で

一應歸任の筈

副島氏就任

名、職業闘業七百六十六枚に主し り合体さるべき各會社社員間に社 がな事集したこころ應業者四百一 力强く表象化日満の協力を

日

職。昭至 の内「常磐」に於て開催、左の大 の内「常磐」に於て開催、左の大 とたが、順印側は今後も此の問題。更にこれを前年同期に比較すると 式館配銀立事備委員會は十二日丸 したが、順印側は今後も此の問題。更にこれを前年同期に比較すると での内「常磐」に於て開催、左の大 の内「常磐」に於て開催、左の大

高粱內地輸入

しい不振

0

税は善は急げさ ・満洲圏の新聞

を開き其情的無目決定の筈である右につき東に來月中に準備委員會 輸入税引下げ

は右ば不當な高率に非ざる旨な変形した、 徳田總銀東

に月被十限二國六二三月中の高値で、なは前年に比し減少した抗病。 で、なは前年に比し減少した抗病 五九九声蔵少らた。 日における大連 端境率の九月末

後奥地の職 安ものに手器さる、ものがあつた 来一順四、五十銭方下数し今や月中の高値 料は過級北流の水雲に遷色した割 出した、耐して本品は既に八月中の高値 料は過級北流の水雲に遷色した割 出した、耐して本品は既に八月中の安値 かの増産に過ぎずその上それ等原 央十陽、三瞬三九ミ月中の安値 房の投げに氣配一敗と悪化し中十月中衰産 体然人領轄く株に油原は棺の需要 が銀管貨艦し邦職の責込、次で

十月大連特產市況上

のき、紫洲輸出もが低純品の船嶺、豆の出疆脚に直廊とたさはいへ本は、安人和農庫なので延続を高限の知る北高大年度接越高が四萬雄と被及人和農庫なので延続の四半横撃に先だつたのさ九月三十日現在に於けない。 安人和農庫なのでが続め四半横撃に先だつたのさ九月三十日現在に於けない。 安しのに手続きる、しのがあつた。 来一画四、五十銭方下落し今や新一家、安しのに手続きる、しのがあつた。 来一画四、五十銭方下落し今や新一家、安しのに手続きる、しのがあつた。 来一画四、五十銭方下落し今や新一家。

大豆僅かに減少

高粱は六割増

来高二、三六一転 安値を以て魅力・ 安値を以て魅力・

旬央に至るや新数の出郷り航衛 別に関三七さ月中の人間の反素に手詰腐内 大連卸賣相場

の内「常磐」に於て開催、左の 郷を決定した 一、資本金三千萬圏 一、工事期間十ヶ年 一、出産能力、年産六十萬噸 一、出産能力、年産六十萬噸 一、萬五千町歩

蘭印側が要求

る 【大阪特電十三日盤】高梁の内地 入に代つて飼料に選派された高梁 解人窩は次のごこき近来消るしく か無機で多く輸入されつくある 百斤 昭和七年「「三六〇立三共17000 「一部和七年」「三六〇立三共17000 「「一部和七年」「三六〇立三共17000 「「一部和七年」「三六〇立三共17000 「「一部本が帰途するを得け、この不同和の電景なる」、に談者の重大な脳心が注がれると、「「一部本の表別では、「一本の表別では、「一本 飼料變更が主な原因

りごいふべきだが、うるさいのないこは、満洲國政府出からたないこは、満洲國政府出からた 満洲属は獨立國だから開税自

粉の各國別輸入高を示さば次の如機線である。 尚ほ大同二年度の姿態の名と、前は大同二年度の姿態がある。 おいてぬる

北界の波紋

來るものご見らる

4

綿糸布組合長 五、七九三、六三四脚五、七九三、八二八、七一八、四三五、七八八四三五一八二八、一二一八二八、一二一八二八、一二一 十三社の申合せ

巧妙な満洲國新關稅

輸出稅、轉口稅等にも大變動

電東京十三日養國通 セメントに ・ して小野田の満難市場震は計画は ・ 十三社側に多大の打撃を象型され ・ 十三社側に多大の打撃を象型され ・ 大ので、十三社側は十二日無策協 首め各方面の資金需要増加のため は驚響産金が上海に移動した關係 かつたためであり、銀預金の減少

急遽新京へ

保險係、大連火災、國際運輸、

**輸入税** のみならず輸出 つて全職能な大戦ごでひさり

飛は野報の如く十五日を期して施 處分法さして今回の税率制定さな (新京十二日發國通」滿洲國新聞 して居るに鑑み、之等過剰要粉の處分に頭を憐ま

登録既得權に

優先權附與

廿日迄に屆出を要望

るものであるが、右規定は来る二十日以後に於ては燃力を失ふので野標配を持つ者の至急出顧方が要がなほ右優先登録の商標は登録は一日登録は一日登録されて後においても第三條、第四條の適当を失ふが優先登録のでも第三條、第四條の適用を大いのみならず登録権を使まされば曹 はのみならで登録権を使まるれば曹 にのみなら四十回である

十月末の帳尻 意見の交換を

**于百二十四萬二千圓で銀腕定では** 十三萬七千圓、貸出合訛は一億四 預金貸出共增加 關東州の火保協会な設立すべしさ行つたが、協定質施のため大連に 製鋼所重役會 十四日大連で

(0 三天(00

十一時 三类鱼

はないらしい 市

銀高を

る火災保険率に關する打合のため 大連に設立 各社代表協議

○神戸屋株式店公債・株式・現物・向屋

一律背反のロジ

(手を振つて入り)

、安高引寄 安高引寄生



廣告部**電**四四九一

要 ペンツール並に代用燃料を調ふ 第二條 石油類は政府の期間は動令 を以て之を定む 第三條 石油類は政府の期間は動令 を以て之を定む 第三條 石油類は政府の期間と対令 を以て之を行ふことを得ず れば之を行ふことを得ず れば之を行ふことを得ず を行いる石油類の関連及輸出は政府の指 でとたる石油類の質別は政府の指 でとたる石油類の質別は政府の指

京電話】關稅率改正に伴ふ滿洲國財政部

た関するもの 整備

ものいうち そしたなものに そしたなものに

内國税制の整備に關聯

(日曜水)

の専責法

日公布、施行さる

品目に亘る

相當める改正品財の新産

40

率を改正

財政部の要旨說明

度半、一、三〇 (二、五四) 重生 地綿織物 重量七封度を 一五) 重量一一封度乃至 一二封度平、反當一、二五 (二一五) 重量一一封度乃至

り1、00 (無

糠、麬 從質無稅(七、

※程次氏(住友出張所長)同

(東亞土木義合群機

数 從價無稅(七、五%)

単を東ホテルへ二日午後六時半着あご即氏(大連特務機關輔

はる内外財政經濟の趨向を検討さ である内外財政經濟の趨向を検討さ である内外財政経濟の趨向を検討さ である内外財政経濟の趨向を検討さ

真施したり、その後和品目を選びてこれが既正を駆行すること

大暫定的改正を實施すれば、よって数に關稅制度の整備と相俟つて關稅制度の整備と都高に至れり、よっ

小麥は

躍一擔當り

一圓課稅

小麥 擔當り〇、五〇(無稅)
「一一」、千本の價格四十二圓六角七分」以上及び各煙草 紙等煙草 紙等煙草

葉 巻 煙 草

・ 一本の價格三百風以上子本に
・ つき二三五、〇〇(一二六、七
・ コ)
・ 五)
・ 五)
・ 一二百圓乃至三百風子本に
・ 七

連ヤマトホテルへ雄氏(昭和製鋼所常務)

つき一七五、〇〇(四六、八〇)

OO(三一、二〇) 関せざるもの子本に 関立なる商標

由理正改

これが質現な闘るの意圖

一日施行され の吹正を通じ蔵人に着るしき減少 に 一日施行され の吹正を通じ蔵人に着るしき減少 に 一年度一億八千八百萬間 の中の關係で し 支は 低 一大八百萬間 の中の關係で し は し が た か と こ を か し た が と で が 上 方針 た の 如 し で で で か る 、 で で で で か と で

強化の建前から輸入税の是正な一

强化の建前から是正

口

ツ

滿洲國關稅改正方針

○い川れを告げて一足飛びに

山岡さんは技術家

時であら

(本)分類の合理化をはかりたるものは左の如と

には発験せられて居る

松島大使赴哈 新京電

品品目

(胃五十月二十學八州指明)可認物便郵禮三第)

一十數年間

技術家

山岡信夫氏

大連市民を相手にする

て蓋と適材適所であらう。

仕事なしてゐるだけに統制の如き

また現在では滿洲體

藩鰕武監會の幹事長を掘め、

出税に関するもの改正

あのだから 高窓順に から 高窓順に なるのも

當然であ

一型的なクリスチャンさして今 選に終するここかく、且つ典

二、税制整備に必要なる為になる これに關聯して改めたるもの左 の如し (イ)松花江に於ける輔口税の廢 (本)

第二條 賑災附加税の税率は輸出税率の重の百分の五ミオ

『新京電話』 微戦、軽煙に対する輸入保電製正に

大連海關の分は存績

なる職職さなつてぬた難日税につ いては凝水様々の地離があつたが 今回關被歌正さょもに二十二日よ 今回關被歌正さょもに二十二日よ 今回關被歌正さょもに二十二日よ

消費稅廢

内容見本建

伊坂市助

轉口稅廢止 れることさなってゐる

酒、煙草、砂糖に 有されるが同法によれば黙造製の は脱税したるものさして虚分せら発言を受けずして製造したるもの

に特許制

のデレンマミ狡猾 のデレンマミ狡猾 概して今更にその 復活を希望するさ 日の日本にさつ そんなものは豚の 昔の日英同盟を回

同盟の帯を追憾して、その戦 尻尾ほごの値っ

機古川 榮一著

室谷賢治郎

池田英次郎著 龜井辰雄著

大吉 近 藤 林 一正 康 敬

大學 中 西 寅 雄美大學 中 西 寅 雄美大學 中 西 寅 雄美 佐々木吉郎

第五卷

ルし左の如く暖寒附加税度が<br />
敷布の臓寒附加税度が<br />
敷布の臓寒附加税度収除例は<br />
敷を

賑災附加稅法

れ二十二日より

豫約募集

イギリスパーなこ對して無係 東京特電十三日整] ワシント

十月

しこの試もあるが、それは困難 が、經濟プロックを形成す

米國建艦競爭氣構

軍縮本會議流産を見越し

十年九和

「、右の領限艦煙な除いた艦煙では各國さら自國の賃情に應じて總噸數美通最高限を超えざる範圍内にて融通を認めることで、日本の主張する共通最高限を日英米等の何十萬、順と總噸数をあげて決定すること、但ら三國は一艦種乃下、日本の主張する共通最高限を日英米等の何十萬、順と總噸数をあげて決定すること、但ら三國は一艦種乃下、日本の主張する共通最高限を日英米等の何十萬、順と總噸数をあげて決定すること、但ら三國は一艦種乃を工盤性が、最上他國に脅威な典へるものを決定して例へば日本は潜水艦、英國は巡洋艦、米國は主力艦至工盤性が、最上他國に脅威な典へるものを決定して例へば日本は潜水艦、英國は巡洋艦、米國は主力艦東京特電十三日發」ロンドン米電・英國はその提議せる試案に對する日本の正式回答を殆んど期待出、東京特電十三日發」ロンドン米電・英國はその提議せる試案に對する日本の正式回答を殆んど期待出

(版內市)

が前の諸丁

一の妥協案を考慮

さか有するさ見らるるからであ

らわざ者へる。

象ではない。滿臓が好感を以て

日本の正式回答期待できずど

英國側、見透しをつけ

英國はその鑑識せる試案に對する日本の正式回答を殆んど期待出

對支經濟關係 の重心と基調

至ったのである。

說

すに最も適えたもの主認むるに

さな認めて來た。随つく支那さ

聖建艦計畫を

以下在連各理事、石本總が、市川以下在連各理事、石本總が、市川市泉浦電影がの諸氏出席の上照かれ譲越さして

電従事員轉出方法及びこれが退。

米政府、暫定的に承認

常設案と我海軍

新交通會社認可申請の件

增稅問

臨時議會後に決定か

引揚増加

上營口水電殘存事業の處置

·現行誹唆依款がすべて感撃された場合のアメリカの連艦家を繰り避艦競争の影響へをなしてゐるい。またワシントンにおける海軍關係筋では既にロンドン會勝が失敗に歸し、來年の軍権本會議が流産に終るかも知れぬさ見越

洲國の農村經濟が如何の状況

自ら来配をふる 大統領今後は 決裂せしめぬ建前で

本營業開始以來 匪害無き拉濱線

守ってゐる。 守ってゐる。 宗では驚、滿の路警貝が觀重に かってゐる。 一時のではなら汽車は無心に起る、中 でいるがら汽車は無心に起る、中 ではない。 ではな、 ではな、 ではない。 ではない。 ではな。 ではな。 ではない。 ではない。 ではない。 ではな。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。

を要うて村添に現れる、 を要うて村添に現れる、 常度中 がのやうなものだ。

待座談會

麻袋保合

戸口事務を

-Gillette

声チレット

双剃

により表象さる

實に科學粹の權化! がて造られた青チレット……… あらゆる工程を通じ、チレット

電験に間はれよ! 各位の

見た質し約二時間にわたつて種

・ 通した熊麒は皇軍が出動する機子 像の計伐を行ふが、常に地理に標 等の討伐を行ふが、常に地理に標 が出動する、概略音。 な響信郷によつて知り、山嶽地帯 それが難に琉越で、これに断一瀬するさ、もう何處へ逃げた

皇軍討匪行の苦心

日

州低

東京特體十三日整。ワシントン れ等に乗込ますべき兵員戦等の無事。 田日本の強硬なる軍艦無に使ん。
エ十四髪を のきされてなり戯え帳約誌答録高 ロンドン館職の行論りを緩和工干萬弗をもつて軍艦二十四髪を のきされてなり戯え帳約誌答録高 ロンドン館職の行論りを緩和工干萬弗をもつて軍艦二十四髪を のきされてなり武々帳約誌答録高 ロンドン館職の行論りを緩和工干萬事をもつて軍艦二十四髪を のきされてなり武々帳約誌答録高 ロンドン館職の行論りを緩和工・有記載が未だ豫第局の正式様 ある

幸侵 認を得る迄に至ってゐない

(日曜水)

り、『東京特電十三日襲』ニューヨー せてはならねこ云ふ温き趣前を採り、『東京特電十三日襲』ニューヨー せてはならねここ。高器を終ってあるルーズヴェルト大統領は総 て居り、また日本がワシントン修工ので今後は代表部に 終歴要通告をなしても興民の機構 て居り、また日本がワシントン修工を対しても関係を製成した。 のまれれば海軍部内の強硬総 十一次の事があっても軍権を対して、必要なれば海軍部内の強硬総 十一次の事があっても軍権を対して、必要なれば海軍部内の強硬総 十一次の事があっても軍権を対している。 た野り、また日本がワシントン條 は、り、必要なれば海軍部内の强便総 は、必要なれば海軍部内の强便総

観測さる



【新京電話】滿洲國外突部では既 一つたがいよ~」去る九日より開館 したが顕事には安東東東島を開館 したが顕事には安東東東島を開館 したが顕事には安東東東島を開館 したが顕事には安東東東島を開館 したが顕事には安東東東島を開館 したが顕事には安東東東島と明館 したが顕事には安東東東島と明館 したが顕事には安東東東島と明館 したが顕事には安東東東島と明館 したが顕事には安東東東島と明館 したが顕事には安東東東島と明館

・ なるの歌師の歌歌にさりか ・ なるの歌師の歌歌にさりか 作服店、仕立屋、腰棚店は右引揚 作服店、仕立屋、腰棚店は右引揚 がよでに引揚げたものは約五百名 に整するさいはれ市内和常継電店 を が、最

出來高期近三百 銀對金銀斯近三百 銀對金銀斯

料旗料涂粉沁 世界各國酒類·食料品·

**毛浪越洋行** 東北領斯停留所前 東北領斯停留所前

更 生素素 油谷榮商店

補血

**当**征伐。急先峰 オセロ海楽 ¥.30 .50

は連鎖街

京男服と京楽

最新の飛躍的進步は 絶えざる向上!不断の進歩ー

相 徽さ煤煙

能をより上昇四

後場市況平三日

してあるのでな

が動を保るのに絶対な條件を有ってあるのではないか。これを呼吸する事は燃煙以上有害ではあるまいか、之に似た空氣はを

諸株保合

だから年中の事であり、をは更かな動かない。之はいつ見てもないない。 ☆も一つ心配なのは徹だ。正月の

リゾッミ寒氣がして額に冷汗をし、私などの微熱患者は入るな

り、又土は乾燥してるても無動り、又土は乾燥してるても無動とは概常あるのだから床上の温度は概常あるのだから床上の温度とが、それが風呂や炊事の水氣とで整上の響度を変へ恰度大連市

◆よく風の味着くると は野歌さ思ふか、海峡所の人達 には驚然の事かもしれね。唯素 には驚然の事かもしれね。唯素 には驚然の事かもしれね。唯素 ので試みてゐるか、夜陰にな あので試みてゐるか、夜陰にな を聞の空海か鳴ばれ

大に一様と新交通電社の総可申請 人に一様と新交通電社の総可申請 人に一様と新交通電社の総可申請 を出来るだけ早憩に選修すること 一あった、民族というでは、 官職たる民族としては日下警察 ので、民族としては日下警察 ので、民族というでは、 のでは、 のでは、

影響の意響をも翻ら近く間里の 意響の意響をも翻ら近く間果殿に 一重響の意響をも翻ら近く間果殿に 一重響の意響をも翻ら近く間果殿に 土建の座談會

般閑散

四月 110章 110章 110章 110章

条(單位十经)

市營住宅新築

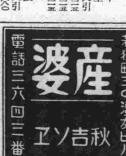
文化的諸施設等

大連市豫算編成協議會に

廿四日頃新京で

提出された 新規事業

土木建築電業者の影集を語び、座 機能地判さ同時に明年度上建館 では例年に放び車部、滿線、日滿 本大 豆(軟調單位厘 一月末 吴元0 吴00 吴00 吴00 一月末 吴元0 吴00 吴00 吴00 一月末 吴元0 吴00 吴00 吴00 二月末 吴元0 吴00 吴00 吴00 三月末 吴元0 吴00 吴00 吴00 三月末 吴元0 吴00 吴00 三月末 吴元0 吴00 吴00 三月末 三元0 三元0 吴00 三月末 三元0 三元0 吴00 三月末 三元0 三元0 吴00 三月末 三元0 三元0 三元0 吴00 三月末 三元0 三元0 三元0 三元1 四十一車 山來高 五百箱 本百 油(保合)單位厘 限 月 寄付 高値 安値 大引 三月末 三元0 三元0 三元0 三元0 三月末 三元0 三







0 珍 0 三二二<u>二</u> 五四四五 店 物

of

一件教語 三00

乾 電 池

大連に在庫豊富のカタログ呈》 電話七二九八番 大連市 山縣 通八八版 資店 募集 合名 杉山商店 大連支店

七百燭、千二百燭

優良國產品

今用 途▽ 主木、軍隊、警察、鑛山、 土木、軍隊、警察、鑛山、 土木、軍隊、警察、鑛山、

燃料は=ガリリン 危險なし 極簡單

暴風雨と雖も消火せず 携帯自由電燈より便利

・感じのよい强烈な乳白色・

二十間先で新聞が讀める

はロロロ

関、新生四四頭、果樹園一四二、 頭、新生四四頭、果樹園一四二、

紅貨擔徽八千三百八十五圓八十七十六個四十錢、その內電氣會下總建設費は合計一萬三千九百円北四條通の三町內であるが之界在確定せる工事區は中央通、

日滿人團結して

嶺の生命線?

國防婦人會

は何れも優秀なるものなく六點で出陳品の牛馬、蔬菜

りの職乗廳集樹組合金州支部主催場りの職乗廳集樹組合金州支部主催場

四町内が撃つて監境の時は確に市 四町内が撃つて監境の時は確に市 でかれてるたが愈々趣説を決定せ るもの、如く監市大航殿たる前記

園六十後、地方東務所一千七百 か含む)電氣會社四千四百十三 か含む)電氣會社四千四百十三 か含む)電氣會社四千四百十三 か含む)電氣會社四千四百十三 大十後、地方東務所八百五十八個二 大十後、地方東務所八百五十八個二 大十後、地方東務所八百五十八個二 大十後、地方東務所八百五十八個二 大十後、地方東務所八百五十八個二

「製山」株色緑の健康の健康では優の健」が、観山器並に地方事務所、網院 四區宿山子から南方藝路に至る間に動活 を職保監視では多く大御殿を贈っていた。 「製山」株色緑の健康がよくサービ 月から三月法は飢餓してかれて物質として、 「大田」に動きの機能が変につき研究中である 大利風に変して、 「大田」に対しまると、 「大田」に対して、 「大田」」に対して、 「大田」」に対し、 「大田」」に対して、 「大田」」に対し、 「大田」」に対して、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」、 「大田」」に対し、 「大田」」に対し、 「大田」」、 「大田」

街が明るくなります

金州殖產品評會

十一日賞褒狀授與式

日

る條件付で借受けたものと地を終へなければその土地を

四平街の

街頭照明

來月初め

十月

貸付土地の取上げ

# 續出の空家を<br /> 隱す氣の毒さ

数一三七點に塗した

"

七寶の柱、公開

十四日から無

【撫順】來る十

撫順選手決定

# 冬枯れに朗かな便り

## 大力家族社で四百六月、百人戦容となるなが、大力家族社で四百六月、百人戦容に親してゐた大家族の總局が

鷲くべきものありて一般の脚を夢密特に産馬と読器鍼はその進歩変感 產物品評會 開原縣下の農

## **過們建設事務所** 牡丹江移轉

 電流極の向上と監村經濟の選化
 電流極の向上と監村經濟の選化
 電流極の向上と監村經濟の選化
 電流極の向上と監対經濟の選化
 電流極い
 電流域に
 電域に
 大體來月十日ごろか

性病に惱む鞍山

妓女に檢査を施行

る金浦健康週間に撫駆戦育協会で

撫順の催し

小林秀準續々文藝評論 阿部大郎全譯 六版 第判上製

河上衛太郎 自然と純粹語

ドストエフスキー論

秋ジセジ四リガイの大分子により、一大の大力を変している。

明年からまづ訓練期

吉林に豚結核

●家店附近に於いて目下檢梁工事 總局入報によるさ十日午後平野線

**11(** 

(至少論)

定機・円五十銭 没料十銭

れる全滿柔道有段

館部念興行さして公開することに なつたが、同座ではこれが記念興 行に新興キネマ館立三周年記念映 大大戦で成計多数者に限り大衆戦金二十 大大戦で成計多数者に限り大衆戦金二十 野郎念味行さして公開するこさに 種間記念味行さして公開するこさに 種間記念味行さして公開するこさに 方配の有力者が際には小野、紀本の有力者が、既然を持ちない。

入營

順にて 奉告祭 右橋で執行 在郷軍人分會に

營口でも執行

他 【鹽口】 國家の干城さして觀察されて、 を 後三時より繁日神社において、 を 後三時より繁日神社において、 で続行された。

が騒び出したので上々影響、それ

下繋急自動車な奉天市政会署に置め 放及急襲のため特殊設備なし

遼陽健康週間

一袋局から十節により成る其取締令 武勝ちや野していよ~一北平の社会局さ公 其他から

第の出来ごさ。

に――本窓の屋敷から銅で揃へた古帽を登

の主張があり、親子夫婦の難別さいった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ は 真に動揺を興へてゐるが、親子夫 連犯者は割金五元のお灸等々、さいった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ かっ間にも瞬國で帰國のめい / アこれから肉體曲線美を誇る支那 ・ かった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ かった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ かった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ から肉にはいからない。 ・ から肉にはいからない。 ・ から肉にはいからない。 ・ さいった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ かられた。 ・ さいった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ これから肉にはいた。 ・ さいった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ これから肉にはいた。 ・ さいった家庭悲劇がそここ、に起っ ・ これから肉にはいた。 ・ さいった。 ・ でいた。 ・ さいった。 ・ さい。 ・ さいた。 ・ もいた。 ・ も 馬が熊に暴ばれてるる兄が死んだ ので、その弟か大八単に兄の棺か で、その弟か大八単に兄の棺か になる途中、 **産献に積極的活躍を始めた。** た 対ちゆる機取を薬薬して無心に破れるちゆる機取を薬薬して無心に破れる。



戰史旅行 十二日終る

だいて同地附近の攻撃より開放が 能行は窓四日間の十二日正午龍駐 能行は窓四日間の十二日正午龍駐 にたて書食の後松樹山に が、窓地に於て書食の後松樹山に が、窓地に於て書食の後松樹山に が、窓地に於て書食の後松樹山に

事さなつたが融場会が中心さなつ 学系官の場職者公園者に許する地 学系官の場職者公園者に許する地

縣民一同參加し 警察官後援會 復縣に新組織を決定

御下賜品分配 撫順でも傳達

秩父宮殿下の

その紫を頼つべく近日中に發送

『薩順』去る六月秋交御差遺宮 殿下の御來滿に際も御繁郁に驚 の行動東廳繁終館に點して御下 つた鵬東廳繁終館に點して御下 では これが最も適切なる分配方法さ してカフス號一點を製作分更す 

定刻支部長三浦ヨシ子女史開會

五年の國際危機を比戦に控へ雄やかくして多年の懸釈であった統治 でれて青い でれて青い でれて青い でれて青い でれて青い でれて青い である。 でれてある。 でれてもな。 をれてもな。 をれてもな。 をれてもな。 をれてもな。 をれても

分注意されたい 人業に態草の吸 が表する が、氏名や群な 乗れたい 營口官 鹽輸送

政府の御室所の御室所な 「響口駅下の能」 「新州國 出大部分を爲して

婦人會設立

十一日吉林で發會式 年以來日滿官民

を使り振ふやう命令したさころ家 大街道にある並木は今夏非常に家 大街道にある並木は今夏非常に家

但し滿人婦人は皆無

原洲日報社

鞍山の巡回施療 好成績に終る

龍首山の山火事 野力は誠に目覚に目覚 三千本の植樹を焼く

それは二道海より馬車を以て滿 車延遷敷が二一三五臺で木月十 銀生頭に運搬される鹽で木月十 電が選敷が二一三五臺で之れが ななこてゐるさ 並木を切倒す

数左の如じ

圖們驛乘降客

型風、貨物收入一萬二百四十八個 総收入四百九個で之を九月末の總 の一萬五千四百三十一個に此こ 七、二五七七、二五七

鳳城煙草檢收

▲ 岡田信一氏(營口地方事務所商 工係)今回支那留學生さらて近 、

今般左記の通り販賣店 各地人事 

兼子常四郎著

を受けて育つたがけに、

〇…「子供の嗜好を無視して

〇…パリの有名な衣裳家エリ

背廣(サックコート)

(日曜水) ダンディのすべからざることで

兒童榮養週間

かずり

**枚集めて姿さすれば紫貂(くろてユール)さいふか、この毛皮を干ユール)さいふか、この毛皮を干** 

れた服すさ見えてゐる通り矢張同

++

の早瀬兒皮(ハン、タ、

勉

白木屋、松屋、

伊勢丹

東京松坂屋、高鳥屋

ほていや、美松、

品で単に営用向さいふに止まる。 品で単に営用向さいふに止まる。

主アキッカン、な

ゼムッシ、

絶大の信用

総取せられてゐるに細かなり、さあ

得意然さしてゐるのを好く見掛け はやまれこの狸子皮(り、ツ、ビ はやまれこの狸子皮(り、ツ、ビ

の類の皮を剥ぎ合せて作つた響

狐裘、貂裘でなける

かの青星皮(チン

の方で、支那人の前では蘇り威張

育代

女の子ど衣裳

パリの専門家は斯う仰有る

がい時分から始めておかればなら りないか理由な指摘してやつた のがさいか理由な指摘してやつた の様性なピッタリさ生かす訓練は

本る十五日から一連関にわたつて 一本る十五日から一連関にわたつて 一大はれるが意楽楽連関は、大連民 が響、市役所、流線、愛國婦人会 が響、市役所、流線、愛國婦人会

社及び大連新 ▲二十日 条養献立義配 ▲二十日 条養献立義配 ▲二十一日 条養献立義配 本二十一日 条養献立義配 本二十一日 条養献立義配 のダンデイたるもの、これなお

日

そもく

一寸を は電車の切符なごを必要に應じて でを がかットがついてゐます。これに

ズボンの方腰には必があります、これはスリのための ふくらませるのは、みつさもない ボケットによく札入れな人れる方 ズボンのお尻の

れよに法方なん斯 妙奇事る治

字ぎ入れて弱火にかけ、一時間位素つめたものを稼で速して器に自胡麻五円をごくさつさ摺つたものを加へ、日本流をひたひたに 分に拭いて左のものなつけます。柚子 洗ってよく灌ぎ、水煎の無くなる送十 入れてよく濃め、後良質の存轍で軽く よいし、さもなければわるま湯に手 の良法は、お風呂から上つた後ならば

からかな手を保つここが出来ます。 でも、健戦少量づつよく磨り込んでゐるこいつもしなやかな、な人れて置きます。これは實に効果のあるもので、ごんな売れた手が入れて弱火にかけ、一時間位素つめたものを稿で漉して器に りの方が深山ありませう。それに一

來る十五日から一週間に亘る 毛皮のい

文「文献通信」の概形文のなかではな云ふのでない。私たちの生活 つてゐる。個人の情趣に概ることと個との變觸によつて生れるさい は個性のなかに存在しないで、個小林完雄氏が、今日の性格の問題

者であると共に、

はよき修養書である。教訓や説教養であると共に、青年達にさつて 中津藩の小蘇の 所する上に必護の を修め、 翁の面目が

市北區堂島大阪毎日新聞社、價映画教育(十一月號)發行所大 新刊紹外

て見るこさは、現代に於て、必ず本新文明の最大の恩人を振り返つ も徒爾ではないであらう。

されたことは喜ぶべきである。 電の弟子達により著はされた 電が表生が語る」(高橋養雄、 著、岩波書店、九〇銭)「書簡 を通じて見た福澤諭吉 先生」 から普及版(定價五〇銭)が刊行 圓五十錢)なぎの新刊書さ共に(和田日出吉著、千倉書房、一

國立燃料研究所

最高權威

實驗證明

フ的電影に身を委れて安閑で満足く光明があるだらうか。シエスト

のない態度は一

帯年が彼の価性の数の中に、やざかうした壁地を守るさいかことは

要求を知覧し、何人にも超え

なかつたや

適當にそれな光

たさころの真

今日では、個性の問題はそのや

の先覺者の直轄を記載している方便を計畫

矛盾が起るのなざうすることも出

さか、近松秋江さか、正完白鳥さ 夏に肚年期を突きぬけた徳田秋壁 窓之迷ひを書いてあつた。 窓之迷ひを書いてあった。 文、 宮いふ小説をみると、その間の疑い。 文藝時 個性につ 荽 「別」り歌歌したもののみが真の新進作。 第一つてくれるものなどはない。こので、作家の個性の成長を親切に見 くるのは無理はない。現に、機だっからいふ點からみれば、長篇小・ てはない。個性のないではどうして小れてはどうして小 なくなつたの (四) た問題である。

「福翁自傳」その他

やうな連然たる暗地に行けないのか、または谷崎潤一郎さかさいふ

はわかつてゐる。

な一般の衛生知識を普及せしめ、

健康週間及び榮養週間が大々的に

木曜講座の開設

まひ、あるものは、

實を學 保健衛生の

あるものは強ひて青春の上

市民の保健衛生の質を舉ぐる資さ

のな、皆さんは嫌想なさるでせ でし続で、これまで多く職業上 でし続で、これまで多く職業上

愚問と嗤ふ勿れ

ズボン尻使用はスリへの慈善家

きてそれでは上衣オーバー共に最前けて入れるのが驚今の流行です

等(に限る)の手袋を指を上に

の役目詮議

オーバーの腕がケーの腕がケーバーの腕がケー

せいぜいメモ用のノートでも入れ方のない方の外はなさらないこと

て置くここです。なるべくなら使

完か基礎さと講義する有益なもの 一であます。本年度内の講義日割は 本十一月廿二日「滿洲に於ける保 一であます。本年度内の講義日割は 本十一月廿二日「滿洲に於ける保 一であます。本年度内の講義日割は 大日「猩紅熱さデフテリーの歌 大日「猩紅熱さデフテリーの歌

は、質に弱いものであつた。だけが、質に弱来に慢感あるものではあったが、これは、質に弱水に慢感あるものではあったが、これは、質に弱いを受けてあったが、これは、質に弱いを受けてある。

多くの虚偽か含ま

れて居る。人間

ら、若い時代をみるのには、一

なる例外さして「

サテ、その使ひ分は…

大へん重響がられてゐるこの

くれるのか今東京

が近ごろのモダン娘さんは歌歌

るやうな花蝶を製か一層引立

また。これは、それはは電流の を見るにからになり、しから は魅らないやうになり、しから は魅らないやうになり、しから は魅らないやうになり、しから はいからしました。

その眼

艶な日本髪姿

用意がしてあれば、カグラをされていました。その像液壁の必要しなくではないであれば、カグラをされるさい

をし、東京美容院扱い) さいふ人類ださうです。 さいふ人類ださうです。

東に何を入れやうさ所続は勝手な 次第ですが、少しでもチャンさし

袋だなごさは考へないて下さい。

カッラなつける前にそれだけ

けて見るさ充分です。常教ればでき上りますが、紹振

カヅラの用意は二、

物を入れない程

しあたり

與子

こそのうへ根職みもなく、

式後は元に選り新婚旅行へ

**重實なカヅラご紹介** 

髪娘さんも

「編纂目傳」な場 北殿の交遷ゲ 自己受査を経ず節所は適所に發見れかグ・ブラン せられる。電が 大阪の 籍 方盤の デスは、代表的 整生々活を物語でた「大阪修業」 デスは、代表的 整生々活を物語でた「大阪修業」 デスは、代表的 整生々活を物語でた「大阪修業」 デスは、代表的 整生々活を物語でた「大阪修業」 デスは、代表的 整生々活を物語でた「大阪修業」 デスは、代表的 整生々活を物語でた「大阪修業」 デスに、たることは、合つて見る有機や、黒田侯の手に さいた。 に続いてあると云は 合つて見る有機や、黒田侯の手に かた であらう。 数に唯一部しかない の間蓋をの別なく突代して寫し取り できょうない かんだい なが、変色の デスは、代表館 してルソウの「酸 めて困難なこ 数傳に於てさへ

活に較べて、一種の感慨なくしてつたさいふ條など、現代の學生々

総歴を譲つたもの しては々自ら傳記を では、自己のが時 では、自己のが時 の虚偽なもこの 数十版を重れた本書が、近時の井大連の間に発さ置まれて居ないの 数十版を重ねた本書が、近時市井数十版を重ねた本書が、近時市井 生誕百年記念さ を演憾さして居たが、この度翁い

放熟絕大

完全燃燒

燃料半减

操作輕便

構造堅牢

體裁優美

は批戦の力なご告りでこと、紹子とこのためないだが、この巧な小説でも云ひたかつたが、この巧な小説では宝生摩星氏の「神のので」のでは、記室生摩星氏の「神のの力など告りでこと、紹子 なかつた。其他邊原六順氏の「父 き子」(新潮)も力作である(三 丈夫なコドモ からだは臓、病を 恐れぬ 小兒良業の常用で

服征服一

頭痛に

1

William Manager

本舗東京4名田館豊香

マニングクー

まい怪品をつくるかは今は第二義しこいふ長篇では機艇な鉄掛 和一氏の暴動小跳「機動」などには、さころどころ、そうした人間は、さころどころ、そうした人間のものである。その他平田小六氏のものでか、伊藤町土雄氏の「村の人々」でか、伊藤町土雄氏の「村の人々」でか、伊藤町出雄氏の「村の人々」でか、伊藤町はなからものは常は相談らずしか、伊藤町はなか、時代の栽めるものはものが多いかし類の悩みかぶつたものが多いかし類の悩みかぶつたものが多いかし類の悩みかぶつたものがあるものは いふのが今、われくへに擬せられ のいも、魔津氏も「風雨強かる 魅って行きついあるのだ。 数息 昭和の コドモ

(四)

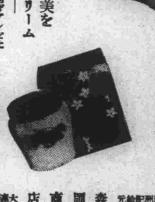
一人残らず…… 明朗健康 一元氣なコドモ

卸商を表示の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示という。 壁天井紙

平

鰻 ば焼

端的に表現するクールクリー・近代女性の要求する明期美を 4 MININE TO THE PROPERTY OF



肌を保つ飼封整肌科的自然に地肌を白く美しく何時迄も若々しく輝くの自然に地肌を白く美しく何時迄も若々しく輝く クールコールドクリー 記さ録く

現代ストーブ界の

缺點を改良せる

あらゆる

意

匠登

本

奉天府春日町六 大連市若狹町二 奉天府西大門邊外 新京日本機通

新城大街拾四 安東縣四番通 西口帯市 大石橋盤龍 **東** 東京人哈爾中東海一 

京城

三越

平壤 三中井

北海道 丸井、 仙臺藤崎。

選、羊婆なども して吉林黒龍江

爾地方の産を可し

見が四五

知ありたい。ごうせやまれこの外 芸を註文するなら、土名を羊緒

本家 獨歷合資金社

地里を記入れる (9-A-12)

其他各地有名

百貨店にて販賣す

〇九二ほノ十七日か)

・人言にノナ大(多分)

〇九二四ノ十大名か

-- [7] ---

為高粱餅

Ξ

五六七八九十二 まま

ż

日本棋院

六・三〇

ラヂオ聴取者の 大連は内地で建つて特に へるものでせうか。 勿論市式出版
アマチユア實験局の計可してもら
アマチユア實験局の計可してもら

雨が降ても

保いてす無せ情が 温さるべ休。 かったででするでです。 気がもも属いる

日

大・三〇 ラデオ機操

一個人間流血動)にてお悩みの方へ 一個人間流血動)にてお悩みの方へ 一面では動脈硬化症・中風 根治いたしません 一面では動脈硬化症・中風 根治いたしません 一面ではないなった病毒の であります。 一面でする方面をである方面をである方面を表現してもこの病場は、一個のですからみ息ぎれてる方面をである方面をである方面をである方面をである方面を表現してもこの病場は、一個人と語ってある方面を関する方面のである方面を表現してもこの病場は、一個人と語ってある方面を関する方面のである方面のである方面のです。 一個人間の一面がある方面を関する。 一面でする方面のである方面のである方面のです。 一個人に下降して、一般に下をして、一般には、一体でする方面のである方面のである方面のである方面のである方面のである方面のである方面のである方面のです。 一個人は一個人でする。 一個人に下降して、一般のでは、一体に、一般のでする方面のである方面である方面である方面である。

-00 (大連より) 經濟市況

を用いてもこの病風は一で前の他を一下とり取去らない歴 を消めで かっくい であるの は であり である いで 
一本で 
一

<del>黝新進高段棋</del> (理其人)

夫吉

ラ

治療專門

諞

8

【面局の迄打鉄八六は圏】

陸上滿洲」の躍進めざまし

た。後来の選手権大会は男女さものが第二日に建めた。そ間に殴り男子類技のに描めた。今間に殴り男子類技のに指めた。ことに選更されたことは地方より出場する選手では、一人のである。

新京百キロ

八。二五 陸軍特別大旗智觀兵御樓儲(高崎市乘付練兵場上中觀) 中觀)

小・三〇

〇一八・二八の時報迄新京

中前の部 (10二)金子彦二郎 (10二)金子彦二郎 (10二)金子彦二郎 (10二)金子彦二郎 (10二)金子彦二郎 (10二)金子彦二郎 (大・五一(東京より)タデオ特操 大・五一(東京より)タデオ特操 大・五一(東京より)タデオ特操 (10二)金子彦二郎

今日のプログ

送属新疆二丁且三/二新省際新疆域(株)) 电阴极电子 二番 一种 東京女優學士 平 後 校 東京女優學士 平 徐 校

平美膚薬專門研究所平武男

筋肉肉の 角腰のコリ (主致) (主致)

三七同八•七三四九 六•八三

する事の症状 なな

京城(NOOKK)

なまづてきもの痕 小 じ わなまづ るいれき痕 しもやけ痕 を が 切り傷痕 しもやけ痕 一キ ビ治後の凸凹瘢痕 しもやけ痕 できるが外用薬に美容的効果を收むる故美質治療薬をして質用薬として質用薬をした。

らず。

顔の

岩

誇る健康!

強健も、故なきにあ

福

健康を護る好評嘖々 たる家庭常備樂妙布 ぬこれまた、 痛みの宵越しを知ら の大の愛用者だく 疲れやコリや 故なきにあ 故なき 房藥綱輝邊渡麟

製造元 大堂醫化學研究所田邊五兵衞商店

臺灣特約販賣店(展界图 **姜**貴元 熊田

此の目的に於而は福モナールは合理分的治療劑にしてモルは合理分的治療劑にしてモルとネ同塩類の使用を以減し思め、食べ種に離藥の目的を達し得別で強性、食べり、一種の目的に於而は福モナールを受養健康を著しく恢復し愉快を養健康を著しく恢復し愉快を強性に難藥の目的を達し得からは質験者の告白する所なる。

は漸減する方法が最も理想さ

要締と福モナー ルヒニスムス ルの対療

那

かを知るに足る。

媽

ルに依り愉快自然裡に離棄せらる モルヒニスムス患るは稲モに 其他塩類中毒 阿 肺病の危機を脱して

よくなつて、忌まはしい症状からる効果ありますから、奈養状態もる効果ありますから、奈養状態も

(わかもと)

それなら総核の自然治療は如何をも人性に自然に構はってるる抵抗力が総核酸を脱手に機能して其抗力が総核酸を脱手に機能して其抗力が総核酸を脱手に機能して其

膜炎にも

楽價は僅か敷錠に過ぎませんの服用量は一日十二錠(III瓦)

核

日

は

期に癒せ

日數錢で榮養增進

十四五歳以上の人は太孤結核に 中四五歳以上の人は太孤結核に 中の大変がある、殊に都督の人は

等は既に結核の第一步

體重減少、微熱、盗汗、肩の凝り

岩素(わかもと)には直接解熱作

根は繁年三十七歳になる繁純賞 番師の診察をうけました。 をすが、一時戦の懸電から、何だ 處が、もう既に賦突漫聴版になった。 をして順方や就襲時に無い咳嗽 通り、懸動安康を守つて養生する。 をして順方や就襲時に無い咳嗽 通り、懸動安康を守つて養生する。 が出たり、午後に寒憩したりして 寒に致しました。 様になりました。

で、時代歌師に診て難って売ますで、時代歌師に診で難って売ますで、時代歌師に診で難って売ます。また是まで便識の具合が聴し、書師もその恢 様な気がします。果して、一般の を順だか其の日から、数日が人 を関した。早速購めて服用します と何だか其の日から、数日が人 を見かれると」の事を知 と何だか其の日から、数日が人

に御注意の上御求めを 類似品あり ®のマー 正しき療法には 正しき

引換期限 童昭和九年十一月十日

仁丹本舖 森下博營業所輸出課

引換場所

大連市漁港町日本賣藥株式會社

滿洲仁丹總代理店

(但し平素の黄地方御取衣店)

して好許を博してゐます。 療に導く點蔣疾自宅療法の完成と 患部に業養を給集し、病因的に治 患部に素養を給集し、病因的に治

す治にずら切り

シ

ひて好い織を暴ける傾向が多く

優待抽籤券」の抽籤會の儀去る十月十九拜啓本年二月發表の「滿洲國仁丹愛用家 御立會の下に嚴正公明に執行致候處下記 の通り當籤番號决定仕候間御手許抽籤券 日弊所樓上にて新聞社並びに大代理店樣 と御照合の上御引替御申出被下度候 考へが集中しない 散漫だ 我れ年ら氣があせる こんな時に 宣等 十八金側腕時計 "特選麵粉 変用家優待抽籤券

滿洲容器付銀粒仁丹三十

六大袋

近代感覚を最も端的で表現するメヌマ美の整髪!これこそ近の整髪!これこそ近 きな魅力ではないか 粘\*香。性 道。使 使 洗。泽。

も婚み腹を人と 日本で初めて成功日本で初めて成功 貴下の

十七、九兩日午後三時出帳の特別の一十六、七の兩日午後三時出帳の特別の

日午前九時滿洲銀行大連支店で既満洲銀行饗行の二千個小切手が下三

白

合鍵で開けられ、奉天

閉出

を食ふ

滿洲國皇帝陛下

關東軍司令部にお成り

星后陛下も旅順行啓

明り、御午餐た場合せられる趣きで ある、また息后陛下には近く御歌 り、御午餐を場合せられる趣きで

兵の出發

各地よりの郵便物が相當多いの

郵便局に私書函な設置して

あじあ、を降り立つ馬淵

ME

日鮮滿 親藍飛行の使命

開、温和な顔に喜びの笑ひを湛へ

した、蝶頭出逃への在連秋田駅人六時三十分着クあじあどにて來連

海秋田縣人會幹事の採田育徳氏は

午後七時より協和會館に於て開館。に次ぎ、熊岳城農事試驗場是渡邊、原職合通俗製術大壽漢會は十三日 大學長野田滑一郎氏の開會の挨拶。 された、参會者約五百名、旅順工

国家的に非常であるが軍器 のてぬるが軍器

から御挨拶をしたいさ思ひ

今度の飛行を記念す

一千圓

の小切手を

空の女王・大連へ

~ ゆうべ、優しき唇に日本魂を讃へつ」

やかな馬

・刺語を賜ふ

将兵只聖恩に威泣 御陪食を 諸将星に

【高崎十三日養園通】特別大演習 「高崎十三日養園通】特別大演習 發國通 大元郎陛

三日間賜暇の 通俗學術講演會 ゆうべ協和會館に開く

その他に挨拶ななし、一同より氏

赤十字デー

本年も昨年同様来る十五日より三日間日本全國及び漁州委員本部同文部一幣に「赤十字デー」を駆行文部一幣に「赤十字デー」を駆行文部一幣に「赤十字デー」を駆行文部の徹底を同時に人道博家、國際観巻の賞を舉げるべく勢

歲末同情週間

社会式株品食スーソテツドルブ 京東

味覺の秋!

大連信濃町電話二二五一三番

榮養御料理には是非

野〇でアメリカ職器駆除つ、スコリ日本戦先攻で開始、結局十四A

『富山十三日養國通』富山におけ

一本日は味風

日米野球戰

既製洋服豐富取揃へました

屋洋服店

生地に仕立てに必らず御滿足を得る自家製

米軍勝つ

ニッケル

並に七五三祝祭

月くさる

素晴しい良質脈を發見

鍼灸術專門

是**兒島鍼灸療院** 

開胃婦淋 節 人 炎膓病病

店貨百毛滿

榮

驛前

元郡役所前長 書屋本瓜

局員も何等不識に思は

子添の印を作らせ、それを使用し ・ 私書館中の小切手を実した場は早速 市内監部調館昌印解所で完主人姓 ・ 大都書館中の小切手を渡したも

旋平 盤盤

越

梨樹鎮八道街

鎌江仕上迄 鎌工仕上迄

まで本社三階講堂にお

日活館において

高級堅牢、價格の點

絕對他の追從を許さず

松本鑄造鐵工所 大阪旭區放出引 〇四八大阪旭區放出引 〇四八大阪旭區放出引 〇四元 番電話 東 (94)四五〇〇番









## 北鐵讓渡問題で 部の主張一致す

やゝ護歩的な對案を提出説明 ュ大使を招請

根より従来の法残よりも幾分譲歩配して左の議覧については雇用外

(七)

さなつて壺鷹島繁 

水深、岩盤を調査 明年中に應急設備

宮廷神出門、直に軍司令都に神成と豫定である。京廷神出門、直に軍司令都に神成と豫のため旅順に行際遊ばされ、ある、また皇后陛下には近 保證方法
一つ、退職資金の支排方法
一つ、退職資金の支排方法
一つ、場職資金の支排方法 の如きも同港の販売へ詳のため

兒童榮養週間

健かに、國の御賓

支部、旅順教化團

傳ビラ配布

内地では十四、五の時から

五十名さ見ても約四百名以上が入五十名さ見ても約四百名以上が入中のさころ、今回市会有志の登起では外来る十五日午後一時より市に依り来る十五日午後一時より市に依り来る十五日午後一時より市 ふっささなつた ミルヤ果物店

中等學校入學者を

の女が虚女だなんて資赤な嘘で所が十三日同家の細君からかれ 育献した水上署、早速この旨な 下蔵の中の處女と判明、そこで

原稿 插繪展 送られて来たので、係官もボカとが、要の夫は決してそんな女を相手にするやうな男ではありませんツッと抗議への抗議交が

本日限り

義人村上氏 開東廰を訪ふ

情に感謝の意を表するため贈らの「は帰還した 「時に感謝の意を表するため贈らの」は帰還した 情に感謝の意を表するため贈らの「は帰還した

した「赤十字子」 赤十字に関する

調査の結果、大阪の

試験の準備に

はれやか

私書函から拔取る

ケチクソな元店員

僅か五十圓握つて靑島へ高

同飛び

大連圖書館

大連署へ属け出た、大連署では時一近まで同店の店覧をしてゐた問題。「日添職時候館をなすさを見ら、封人姚子濬が蒼くなつて「人捜査を行つたさころ、ごうも最」が補修工事拠らず題に十一月三十大連署へ属け出た、大連署では時人捜査を行ったさころ、ごうも最」が補修工事拠らず題に十一月三十大連署へ属け出た、大連署では時人では一月三十大連署へ属け出た、大連署では、一月三十大連署へ属け出た、大連署では、一月三十大連署へ属け出た、大連署では、一月三十大連署へ属け出た、大連署では、一月三十大連署へ属け出た、大連署では、

市會有志らが中心となつて

す、緩和策協議

の手配で水下署に取押へられた うが、御本人曰くク妾を犯

品料食の屋河三 マサ 醬

大連イワキ町 日活館南隣



英國製高級煙

麒麟麥酒株式會 社

器枚 療生 医衛 械

100

副作用絶對になり

| 戦みよい

劑

**音洋** 

写"六五四四番 大車市見卡町三

鑛

業

所

由

(86)

湎

道軒圓玉演

〇一五・八六八八番 一五・八六八八番 一五・八六八八番 一五・八六八八番 一五・八六八八番 一五・八六八八番

3

3

多

價

は

大連市大山遜/ 大連市大山遜/ 大連市大山遜/

政友·積極的に

財政々策を攻撃せん

臨時議會・波瀾豫想さる

一般一个ない。 一般のでは、これの

首相

の强力なる統制

(界方面で要望さる

きは之な災機業、土木

に上程、歴野財政部総務司長列席十二日午後二時開會の國務院會議

はける。ことでは、この出来のことのは、このはなが無いことでならうか、このとは、このはながあいことでは、この出来のというない。この出来のというない。

安達總裁赴阪

参議府會議で

新關稅率を諮詢

東京十二日養國通過徳川家達公は旅戦池念日國際放送において特に、

カ、昨年度においては五千八百萬 けられるものと期待さかの税率低減を確實観せられる總 で日本の對消輸出は経済の税率低減を確實観せられる總 で日本総布界にとつて (日本)の税率にとって

**上に信を持てば** 

選集な鍵にやはらかい微笑を浮べ 選集な鍵にやはらかい微笑を浮べ

b

理解親善を増進

休職記念日に 徳川公放送

前回同様到着主義を採用

即日公布される智 三日の象議が創造で路滅を終れば、5ヶ線布の需要は経々増加の 割議の後、原製通り通過もた、十、増加を示し、關稅の高低如何 割談の後、原製通り通過もた、十、増加を示し、關稅の高低如何

綿布稅率低減

るものであり、今次の改正は各大今回の低減は農村の貨幣を輕減で

豫想外の

立派さだ!

というでは、これくして慎重にイギリス案の真意を探求して萬全の對策を考究して居り多分画能は二十三、 を認を念ぐここれくして慎重にイギリス案の真意を探求して萬全の對策を考究して居り多分画能は二十三、 を記む念ぐここれくして慎重にイギリス案の真意を探求して萬全の對策を考究して居り多分画能は二十三、 の意向を傳へたるのみにて代表部に来だ回訓を發してゐない、何されば外級及び海電監視の愈は できぬからである、されば外級及び海電監視の創じに於て日本代表部より正式回答を指してゐるが新國政府は會談機に於て日本代表部より正式回答をなけ、 原理に名財上の電情域等権乃至地数の原販の分談められても現實に平等乃至均勢の軍備権を承認せられざる限り できなからである。されば外級及び海電監視の愈ばは できなからである。されば外級及び海電監視の愈ば できなからである。されば外級及び海軍監視の愈ば を表記せられている。 できなが新國政府は會談機 に於て日本代表部あて發送せらるべく、回記録着すれば直に第五回日英金談を開かれるであらう

明治二十八年

の見舞を述べた

明治三十八年以来の一石三十二

一升五合以來の

依る被害大なりしに加へその後の一回縁続戦を高調を直後の暴風に

減少

成熟用書されたるものありしに因素候も概じて順調を除きたるため

昇 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人類編 盛武 村本 人剛印 地番一冊可聞公東市連大 社報日洲滿社會式棟所行發

日共産區、曾ての首都たる瑞金に共産區な攻撃中の東路刹那軍は十

瑞金に入城 東路剿匪軍

多藝多能な 佛南宗匠

能な人が越くな 安氏

高等騰越を遊することであ

成立に奔走 特産バーター

鏡は見た!(その十一)

のが、二人の企身を卷込

二郎書

かに字を書き、繪を描く

日や足や或は左手なごで筆が ん衝特の妙技さもいふべきは

層増進されるだらう

な青春

(40)

三上於荑吉

さいひ、顔る雅趣に富み且つ る。しからその字さいひ、 類品を持つて居り、筆勢却々

0

の容見監格が示すやうに斗酒 題に、作業に、行飛方面の造 誰が深く 先般思獄さしては

人には物るだらうが、知らぬ 歴』の作、さいつたつて知る

ふきへがあるが宮崎さんの多

捨て跳いものがあるさいはれ

裏書きして居る。

★か藤沢り知るまい。 人には一體/佛南宗匠/が何

央國案の眞意を探求

海・外兩當局頗る愼重

八丁さい、稀有の酸癥表彰かうけた。 なほ解せの意味でもある。

七十四萬六千石。養表されたが右「り收穫量は一石五斗九升で明治三」糖一分)の減少な、米穀収穫燥糖高は別電の通り五十一千石以来の凶能である、角ほ皮にいれば六百二十八萬、『東京十二日養國通』本年度最終一數字は大正二年の五千二十五萬九 に於る第一回の豫 利用二十日現在 在に於ける米穀 不育四十石へ 七十四萬六 厘)の減收に當る 收高に比すれば二千八萬二千九百名のゝ如し、而して之を前年實

本年度米穀收穫高

錄

北神際氏及群介羅氏夫人は同地よて九江に陳つた、尚太原にあつた

にて 管地養、午後十時軍艦永緩に十一日午後三時半太原より飛行機

【漢口十二日養國通】 蔣介石氏は

蔣氏・軍艦で 九江に向ふ

のう。 職窓して下さい。でも、いまれられない、運命だつたやうな象がします」

変が、彼女な慌たメンと襲って、 変が、彼女な慌たメンと襲って、 変い、しかも、ころで、となって、

會株

會社山岡發動機工作所

奉

天、新京、

ハルビ

電話代表七一七一大連市山縣通り二一

するここに致しました。この人かるためは世下人こざら新聞人にお子機たちは、もうお正月の来るのな指指り酸へてお待ちかれて 評の連續漫画クボンボコピン助イ編「滿洲イロハかるた」なお贈り 本社では、お子様たちが、

A 本は武田一路無信か祭聖な場ので、手工な兼れて、お子様方本は武田一路無信か祭聖を搬ひ、その名の如く滿洲の舊所、名 しらすのうちに知ることが出来るさいふ数は籐懺飯に常んだものと信するもの大の美麗なもので、手工を兼れて、お子様方がお正月のお休みを楽しく遊びな その他を限なく取入れた

滿洲の事懐を知らず

フ月

セット高級印刷十度刷新聞一日發行・月極讀者に関

聞二頁大限り進星

日系官吏の

異動

早急實理

法制局長の提唱さ

但だ此の塾ばかりの波瀾にさへ掛い以上、大抵やまは見えてゐる▲

滿蘇水路技術會議

社報日 米期を迎へ休會さなつてあたが、 衝線定會議は十月末、黒龍江の滤 のボッ水路神

に會議際艦の機様であるが、或はに会議際艦の機様であるが、或は電は現在のさころ、解三日中にハ 下交通部大臣の案内役ごして同事 来る二十日黒河に向ふ豫定である る事さなり、滿洲國委員堀内事此の程結氷に入るさ共に再開さ

二日午後四時五十分 登列車に二日午後四時五十分 登列車に

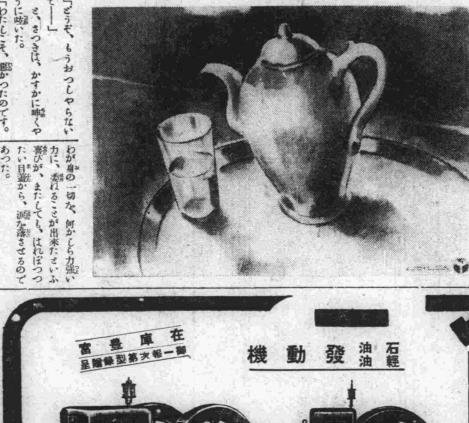
る資格はなかつた りたしは、お願へなんぞ、來られ さつきの、その反省は、強ち、 き、さつきは、かすかに鳴くや

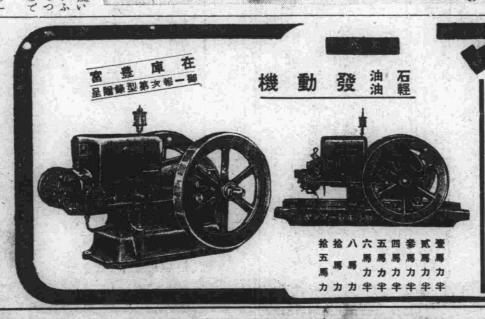
教女は、熱く適切つた。 ルな、義效夫人の酸粉が、浮かばつたこさのある、あのヒステリカ う。彼女の瞳には、たつた一度含 時が来たら、死んでしまひます こ、彼女は、嘘いた。

さ、再び駆は言つた。 さ、再び駆は言つた。 悦さな、感じやうさせずには、彼女もまた、限りない滿足さ、 ちれなかつたのである。 瓦

一関たらは、もう、何 そんなこさを言つて









財源を提供せずば 復活要求を認めず 大藏當局の査定方針

記ま来る二十日新京野黒河に向ふ 一、日登園通」結米期に於る北浦の 一、日登園通」結米期に於る北浦の 一、日登園通」結米期に於る北浦の 一、日登園通」結米期に於る北浦の 一、日登園通」結米期に於る北浦の

| 東京特電十二日数|| 大楽湍洲国に関し政府実路では

うなこでは出來ので思ふ 日米間無電

が府要路の見解 上で最も慎重に取扱はればならい。 を を は別である▲本年の農産物の なのであるらしい▲生産過程・ のでは日満岡園のみならず、世界・ ではてもあるらしい▲生産過程・ のならず、世界・ であるらしい▲生産過程・ のならず、世界・ であるらしい。 あるが、影響も勝工舞も勝せてよって見ることが出来る▲此の反動で へられの脆弱内閣で

旅館は

電職機を引下げる磁薬に駆くない▲満洲國民の生活多電品に繋げる
小戦療な打撃を搬つては地らない 満洲の産業保護さ

名古屋

起きた。昨夜の一切が、

大連驛頭の義人村上久米太郎氏---(4つべ為し)

傷病兵御慰問

十四の兩日顯東應、滿線本社、

十五日出帆の香港丸で内地へ出登

侍從を御差遣

滿洲國皇帝の御仁慈

ものな水で励めて煮し、カステラと呼吸が良くない、結局粉にしたいがごうも不味くて満に食べさせて

重り各地をいけるさころあ

特征武官は十二日より十六日より二十九日まで、石丸日より二十九日まで、石丸

月用ミすべく色々やつて見た 開高製な音像取物せ巻き港 のつたまうだ、仍で最近運動

日

感激の怒濤の中に

吾等が義

八來る

村上氏・ゆうべ大連入り

驛頭歡迎の渦卷く

今回の事件に對して寄せ

香港丸船員

四名收容

强制處分に

総属さに終み、神戸水上署で引催し神戸特層十二日整一香港丸の体

高粱の榮養價は

玄米と白米の中間

日本人よ、盛んに高粱を喰へ

盆田孝翁の一面白い實験

## 熱戦を御統監 政し傷痍兵に御言葉を賜ふ

の鳥川左院飯倉の

十分大本僧に天機難しく還幸遊ばて午後三時五分新町撃御鉄、同四 空軍大活躍

**大演習第二日目** 

懷しの故國へ凱旋

十六、十七日の隣日に亘り午前七 ・一六、十七日の隣日に亘り午前七 ・一六、十七日の隣日に亘り午前七 ・一六、十七日の隣日に亘り午前七 ・一六、十七日の隣日に亘り午前七 ・一六、十七日の隣日に亘り午前七 ・一六、十七日の隣日に亘り午前七

十六、七の二日に亘り

)團勇士

して滿洲の

見透し

二留堀橋本日京東

歸順近し 密林中に遁入 德林



さ観測される

氏孝田益 店商口樋个

地地帯に胴数を選するに至るもの地地帯に胴数を選するに至るもう、斯くて中部吉林家

人會主催、民會、四新聞社後援 凶作義捐金 哈市で募集

脚方の賣上げ増加の見込みである 「関の増加なぶら前年同期に比ら 一期の増加なぶら前年同期に比ら 上げ増加する一方、十一月は約三 上げ増加する一方、十一月は約三 内歯 西広場中央舘

衆

電話22990番

十萬圓 の賣上げ 消費組合支部

し、海特の悪調と毎生家法を記述し、海特の悪調と毎生家法を記述の場を研究

てんかん ドキッケを購入車 中風・ヒステリー 屋の井口等で乗った人生の風景です でを削する事態に繋のならの、キ

中に通入、其中には大麻首像林も がり各脈は麻脈を駆りて小田原料。 を切る脈は麻脈を駆りて小田原料。

例なる過寒にても さして特に推 一馬力より四馬力を各種である。重量十三貫

政官長を通じて有職き御電源な「總親、潜の上に御着後群度自財車。総裁、途中総玉職職兼軍人に本一られて神根川逓江提防上の戦闘御

高崎市附近で燈管

一王道の光一新京市政公署社会事業職 々百人以上の貧民に施飯

散し東起風酸さ見られ、部下肥成 特性に使り大打撃なうけ各地に四 密域の王者線域及太平興は今回の 密域の王者線域及太平興は今回の

テイが組織さ

鮮農に副業

講習會を開く

二十日盛大に發會

・クラブ支部

國都

果北六駅の冷密筒製は機像以上であてた第二、第八脚関粉兵の郷土

体温計

平型三分計 1円30 鏡 様状一分計 1円50 鏡 東京 日本橋本町・強曹元・漢井や名會社 各地乗易にあっ

かれなあげ 業一人の無則な守

者にはあのスマ

浦野農の副業知識の缺乏に鑑み一

利用副業が奨励せる

川頭山兩氏 保釋出所す

電車 では、 東京十二日養國通 五・一五事 で、後犯職僚で去る九日禁錮七年 で、後犯職僚で去る九日禁錮七年 のが決を受けた大川周明博士を禁 のが決を受けた大川周明博士を禁 のをしまり、一の治療及び大川周明 をしまり、一の治療及び大川周明 をしまり、一の治療及び大川周明 をしまり、一の治療及び大川周明

同様の患者は十名に撃してゐる 意土木石井組の加藤力へごと民燃 意土木石井組の加藤力へごと民燃 哈市に天然痘

年

ノ製作

尊

經驗ト

研

究

理想的煮沸釜

なよば機能以上で平単の二糖酸の低 常における水源による排作物の被 常における水源による排作物の被

基發見さる

大連市郊外劉家屯附近の山頂に於て

英魂初めて浮

土の薬を教見した奥村中佐は見れてあるのに、この惨めな

團三勇士

本欄朝刊、

夕刊共特別廣告の御取扱ひ

を致します

精々御利用

願います

廣

告

時四十五分死去、 合田氏夫人 合田寬太郎氏夫人 滿鄉华頭事

安東電話』満洲の雰囲炭東が持ている。

鎭江山を美装

實用新案

式 蒸 汽

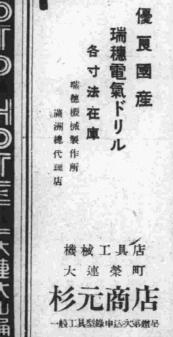
納 先

テ平均ニ煮炊ナス斯界 最モリイ中心部テ強ク 食宿賣

最モはイ中心部テ陸ク上部周囲へ刺り然シ後來ノ蒸汽業ノ鉄點テ一掃シ炊煮物ノ磨ノ 話 器 田 三 五 〇 二 番 東京市城東區龜戸町七丁目拾六番地 東京市城東區大島町六丁目六一八番地

(手切品商) 店商村西 五三九四樓 二〇一種西 號九二編市町濃信 Q. 今晚! 公演種目 ジャ 會ス目費がほが こ思想 ングレトタ 大演奏、ルカ 京

巾村譲治氏離滿送別舞踏會 (O) 遼東ホテル第七天國に於て 0 般社交ダンス Ë 東ホテ 木 東亞會館より 大連大山 師テ協



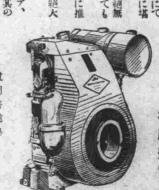












の一、八三五明、 ・二特別市に及び、 ・二特別市に及び、 ・一、八三五明、 一般に記しているなど、関都らしい意識が終せられ、フレザーのユーるなど、関都らしい意識が終せら 自六百五十人 黒龍江省が最もひどい 北滿大水災の被害 人の死者並に六八人の傷者を出し人の死者並に六八人の傷者を出し もつたが、最も破壊滅人であった 灣水家屋三六、一二一月、

を方面にから

2年08以、古郷徳、

な白栗の康徳舎館た舞ぶに日滿世

いの総方講習會



大河内の「水戸黄門來國次の卷」 「花嫁寢臺列車」を併映

まかさ、総綱も、奥から変を

28

(46)



監督

特 獨 理料平 存共業の大精神に基き皆様の配給機関の一選を 御指導を御願ひ致します して既に一ケ月さなり

英數國漢地歷經濟

消え失せて物霊が | 「大魔には最も好演をのまれよ◆領脳・を吹きに映像」類 | 「大魔には最も好演

ホシイナ 前 然臟而國跛 主演

杉 靜 田 逸 斯 朝 日 所 載 馬 載

後

篇

グリコ 千萬百

~~~~~~

0.00 3.33 7.07 0.10 3 43 7.17 2.01 5.35 9.08

畵映大代時作特活日 鈴十五田山·清田

大塚日進堂藥房附續地段街一二九

日本

-m-

ましたので何彼

編物のシーズン 一九三四年の毛糸の流行色を豊富に取揃着心地の良い毛糸製品に限ります 毛糸の御用なら専門店のラクダ屋へ

フトン御紅茶を 一品御料理にリ 弊店食堂部では 御添へ致します

pompeiag

これからの御化粧料

ナイトアクリーム 恐ろしい程すばらしいか化

粧効果のあるポンピアン ナイト クリームを知らない 方は近代人の資格○です!…



ほんの二分間づつ このクリームをお顔 首筋・手によくすりこんでおやすみ下されば快よ い睡眠さいもに知らの間にお肌が若々らく美しく なります。殊に荒れ性の方はこのクリームをお用いになれば決してお肌を売すことがありません。

到る所の著名雜貨店・小間物化粧品店・薬店及消費組合にあり



大連市西語電話22467 上海。 ハルビン

H

薬復回労疲痛頭

## 劑養榮。頭

日獨殿



電話京橋六一四一番

服棚より造にすぐれて居ります。交上棋士監察を始め「始めて出來た職権の高作用により、頂腦を明快に、疲勞を去り、頂痛敵痛にも敬一顧及。」の高特殊能を保育させたもので、肉脈と共に背腦を活躍に、緊腮避難、一般。 しい愛養を異へるめづらしい獨連明酸脱變を主體としまり 関和総へ 等。しい愛養を異へるめづらしい獨連明酸脱變を主體としまり、関係の一般。

頭痛薬解の鍵性といふ問題は今日では極めて重大な事材である事は申す姿も類の選生といふ問題は今日では極めて重大な事材である事は申す姿もなりませんが、逆来頭の薬と云はれたのは悪てアスピリン側主配の所謂の選生といふ問題は今日では極めて重大な事材である事は申す姿も

頭に榮養を

ませら

+



見たときは例の手でやりをるわいー

外に鉛のように重い頭がすつきりし、何時にない明快な心持にて効きめに期待を持たなかつたのですが、敵々用ひて見ると意で重ったもの被、大して直の話、始めはだまされるのを髪悟で買ったもの被、大し よく、此の勝利だと連用したら必度強も良くなるだらうと思は れますので奬めたく、敢て難まれもせの提灯もちをする説です。 以来駒を握る前は無論、前晩に服んでのますが、具合が誠に

## 愉快な話

**繁養棚といよ難つた傷語に恋きつけられて早速買求めて服んだ** 灯をもつて臭れまいかと相談をかけられた事がありました。折 感じ作らも、丁度頭が疲れて弱つて居た時でしたので、頂脳の 胃散や重響はどの効きめもなく、却て便秘が嵩し提灯持ちはお いふ頭の薬の効果です。始め新聞で小説家が褒めて居る記事を るか飛んだ迷惑をしたと抗議をもちこんだ細胞があります。 角の話なので四五日やつて見たところ、どうしたものか将通の それに引換へ、近どろ愉快でたまらないのは「はれやか」と 五六年前に私の友人が両腸の薬を新製したから使つて見て提 「野い反感めいたものを

肌色か、オークル一號、健康色などを混ぜて なつかしい美しさが見られます。 おつかひになると、温かな 雪印クリームへ、少量のウテナ粉白粉 冬のお化粧には

おヒゲ剃り後 お浴後にもウテナ雪印!

サラツと変快 温かな色。

事がは、 一年中

いつでも、 四季日常用のクリームです。 お肌の美を認る

急切十二月十日限り

本の(脂肪性)五十五銭、六十銭 本の(脂肪性)五十五銭、一圓十銭 本の(脂肪性)五十五銭、十一圓十銭 ウテナ粉白粉 廿五銭、卅二銭、五十三銭 オークル二號、ブルン・ナチュレル

記入東京本郷區本郷ニ丁目ウテナ本舗懸賞係あて郵送して下右の解答をお書きになつて、必ず封書で、袋にも健住所氏名を 三、あなた様の住所氏名と、この新聞名。 二、ウテナロ粉八色のうち二色の名。 ウテナ雪印クリーム、ウテナ花印クリーム、ウテナ粉白粉 武十名樣

ウテナ日記 一等(貳萬名樣)

這加納

ウテナボマード等、ウテナ化粧品の空域に(他の用紙を可)ー

ウテナクリーム

實際の碳減に能してゐる 災害豫算批評

は、東京十三日餐園通過、 一般では、東京十三日餐園通過、 一般では、東京十三日餐園通過、 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一を

る限り必じも之を担否する必要はない。 ちゅうか 大き英國が我國さの同盟復活を衷心希望するに於いては我國を るならば 絶對に耳を藉すべきでない尤も英國が我國さの同盟復活を衷心希望するに於いては我国を 日英 同盟や 日英提携を以て我軍縮の根本對策を左右せんとする交換的の魂膽をおるならば絶對に傳へられてゐるが、果して英國政府の真意が何うか實體を捕捉し得るさころまで到らなってゐるが、之に難して我海軍蘇尉の具際は左の如くである

東京特電十三日發」軍総集備党港行話まりの抗糖又もやロンドンに於いて日英同監復活説が流布されて歌

意味前内閣は「老村内閣」で慢

國策審議會

軍縮本會議流産を見越

建艦競爭氣構

急設論

南側を承認

で、これは五萬園内外で見られて の吹草に伴ふ総費が臨時慶會に追 の吹草に伴ふ総費が臨時慶會に追 の吹草に伴ふ総費が臨時慶會に追

により職内には悪かに設置すべしのあるため一時後戦に陥つてぬた

に微含に林陰樹を訴じ、來牟皮陸とは十二日午後六時前橋看、直見前椅十三日登國通』柳川第一郎

に首相ご折衝

英同盟説また喧傳

軍縮と交換の魂膽あらば反對

在哈ソ

か関内一致さへ野東ない。

生れた害なのに、 皋國一致ごころ 間田内閣は皋國一致ご銘打つて

わが海軍當局の見

寛大なる査定

政治的考慮に基く

廿二日迄に

豫算案決定

H

害對策

の豫算

資せんがため出來得る限り輸出税 開發、發展並に對外貿易の伸長に

關稅改正方針

研究審議を終り

## 砲 語筆

## 

## 维香一十三町國公東市灌大 社報日洲滿 監戒 所行費 〇六連大替接・製五三一碗雪糕

## | 「新京電話|| 第二次滿洲國|| 議において尾野眈眈部總務市長の|| 國以來の標準からして急遽な或 | 成本歌正は財政部部局において|| 説明後可決し午後二時國務院より| は極端に全配修歌正を避け漸進症|| 数表の表流を極力避け | の表議を終り十二日國務院會議|| 要表いよ~~十四日附公布、來る|| 改正の方法が採られたものさみて|| ごお恵枕寺野照表を作成要表後 | の意識所會議に上程、同會|| た、今回の欧正は滿洲國稅制の建|| 域形の方法が採られたものさみて|| ごお恵枕寺野照表を作成要表後 | 大て影響状寺野照表を極力避け | 二日製菓まで欧正趣言書説明文並 | 「おける經濟界の混流を極力避け | ことになつた|| ことになった|| ことになった|| ことになった|| ことになった|| ことになった|| 一日製菓まで欧正趣言書説明文並 | の前底化、単連化で配る為に十 満洲國の改正關稅率 膨よけ ふ公布に決定 實施は來る廿二日から

た明かにし、同時に右根本館改正たる後、これが實現な闘るの意圖

にしてこれが歌正な駅行すること 三十五品目を選びてる こし、輸出入税表を通じ でし、輸出入税表を通じ 脚を形態に総を根本修改正に働する 調査研究を進め來りたるが、

年餘を関し、

大暫定的改正を實施する。 大暫定的改正を實施で表に關稅制度の整備とで表に關稅制度の整備とで表に關稅制度の整備と

を生するもの

常局で復活要求の事務的折鍼をな実達第に顕し蔵相並に大蔵省事務

吉林警察廳の

刷新完成す

されが開税

りな割する内能満金の直通連絡が

正において附加税 として下税中にその一部を織込み附入税の附加税さら して下税中にその一部を織込み附入税の附加税さら して下税中にその一部を織込み附 補臺交通の

ばいかる丸船客(門司

經調委員兼第一部主查

北 滿 農 興 公 司

相當のる主なる改正品目左の如くには無税又は免税さなつたものが 本酒の減税にして、総系は引上

屋留り○、八○

欧正されたものは総織物並びに今回の改正によつて特に留意

機當り」、00(無

小麥 携書り○、五○(無税) 小麥 携書り○、五○(無税) 二、○○(三一、二○)千本の 一二、○○(三一、二○)千本の

門加稅廢止

正稅に一部を織込む



わが國の財政の現状に鑑み關稅をである、改正方針左の如し 機様である、改正方針左の如し

足絡會議の決定事項

内

- 萬圓を承認 地に工作を進めたが、相當困難なもに設けたいこの見解から政態方面 陸相十三日中

新底事務的指衡によっては解決でもたる經過を報告する所あった、 と政治的繁決の方法を譲すること 陸根は十三日中に岡田首根を會見 デルにおけ のではなることが明かになつたので 一部できます。 のではなることが明かになったので のではなることが明かになったので のではなることが明かになったので のではなることが明かになったので 性でも離せざる強硬態度を持く 程度の復活要求は他くまで固執すいなった。

退職二百名に上る

車中から心からい間とた なながら 主要線の原頭に立つて響が かながら主要線の原頭に立つて響が

★…ハルビン競路局附業科長松

併しながら、聯合内を雖ら

のためにはいつて来たが

チハルに到着來

最近北安徽附近に輸入が水田開拓 地は原始狀態の鑑捨てられてあり

ツキリ境界をつける事だっ

要、激北浩線の励き出り至く安全

め、同時に、聯合外の第三國 対しては共同の障壁を設けて

**PM者の貿易な全然自由になら** 

而こて此の聯合の生産

ごなる必要が

せん為めには、此の個別生産

ての降壁を撤去し、

るに此處に日滅ブロックか結

那のか関党を踏襲してゐる。

じて、澎洲國も其例に漏れず

-- 匪害全く絶えた--

平和鄉·濱北線

八移住の好適地

関税障壁が設けてゐる。

の力

た以

て

國

民

経

漕

の

安

全

を

保

ての内容は、関稅同盟や貨幣がよくの内容は、関稅同盟や貨幣

のるが、經濟プロック

民同盟、貨幣同盟の如き

一般的の關係が結

つの題目に就て共同一致

る一の聯盟である。同

H

經濟プロックは二個以上の國民の結合を行ふこさである。即ち

一海が一つの塊になる聯盟であ

れればなられ。日滿議定

石炭液化委員會に

海軍側の協力を求む

唐民經濟の間に綜合的、一般的ぶものだ。隨つて經濟聯盟さば

小意水はその形態を一塊にす

話さいた。 2000 地に於る本年度製作は近年橋に見 依る教養を行ばす 地に於る本年度製作は近年橋に見 依る教養を行ばす 地に於る本年度製作は近年橋に見 依る教養を行ばす

新機構實施を前に

現地の實情を調査

櫻井拓務政務次官談

ツク形成の一過程さいふべきで

勞作せしめて

窮乏農民を救濟

間島地方の大凶作に

必要であらう。而して内容は事

に考慮もされてゐると傳へら

りても開校總収入の減せの様

ので厳秘に附せられてゐるのも 則に知れては不都合を生する

める。満洲國な承認した國は

く事は必要

社

說

ある。個別に統制を行かも、生

られて、來る十五日公布即占

には財政上の見地から現在の保

滿洲國關稅 幣制度、勞動制度、分配制度等 經濟の獨自の統制を以てする貨 經濟の獨自の統制を以てする貨

> は之れな特來に展望すべく、 點に到達せれば、理論的に完全

も恐らく萬全さはいひ得ざる可すべきものである。今回の改正 く、更に絕えず研究を要すべき

ものさ考へられる。

爲す所は前述の理想を目標され

ぎないのであるが、その

日滿經濟ブ

土地商租の手續 部分終了す 二月迄に地券鑑定、商租價支拂 民政部、布告を發す

【新京十二日餐園通』民政部では

新 三、最終提出期限迄に地券を提出 可 三、最終提出期限迄に地券を提出 である土地に就いては特別の處 に関合す事

ては 明年二月迄に地券の鑑定及商租 | 2000年代 | 1000年代 |

滿鐵上海事務所 擴充方針を決定

連絡部では同事務所を擴充する方 然に驚現を見る模様である。なほ から渡橋式を銀行するにおける經濟工作の重要性に鑑み 及び經費等は近く其體師に決定事 みがついたので二十五2不足を告げてぬたが最近南支方職 に附議し承認を得たが、増加人員 る二十日を以て工事完清潔上海事務所は以前より人員の 針を決定、十三日午前の重役働議 般來架設工事を急いて 南支經濟工作を目的

かに、他の軽繁や見送人は通り かに、他の軽繁や見送人は通り かに、他の軽繁や見送人は通り 森林の狀態な視察し垂直寫真に 収めた、満洲國内の全石数は今 まで百五十億石ご被算されてゐ たが我々はこの半数六、七十億 では、本格的伐探は未 では、本格的伐探は未 ではアメリカへ求めなくても満 にはアメリカへ求めなくても満 が直ぐ野崩れ出て了つた。 でなり注意し一時は整別し が有るやう注意し一時は整別し でなった。そ 等 整校の 生徒称二百名が何人か 等 整校の 生徒称二百名が何人か ◆九日夜八時養別車の或客か見送 學生訓練 や本稿は元來「大連市に於ける住

海に引揚げてゐる南京派遣員の復活派遣、廣東、漢丁等南支重要地はれることになるものと歌想的に行 二海事務所の擴充に依つて現在上 嫩江西大橋 二十五日渡橋式 **6** 6,

てゐる

にて過程水雪のため流失した嫩江 で大橋を新設すべく經費十三萬園 西大橋を新設すべく經費十三萬園 西大橋を新設すべく經費十三萬園 般來架設工事を急いてゐたが、 る二十日な以て工事完了す

出來高 一萬枚 一月限 三八三 奥地市 保

京男服と 京梁 は

紀えざる向上! 両チレット により表象さる

臨時議會を目眺に空へ急遽湍州現「地視察のため接跡跡外次官機并長 | 五郎氏は高井良秘書を得ひ、生駒 | 上陸後一行は自臨時議會を目眺に空へ急遽湍州現「地視察のため接跡跡外次官機并長 | 五郎氏は高井良秘書を得ひ、生駒 | 上陸後一行は自勝と 機手拓務次官、生物管理局及例と は十三日午前十時半關東駅を訪問 は十三日午前十時半關東駅を訪問 大場、日下駅局長を始め御髪地民 大場、日下駅局長を始め御髪地民 對滿國策逐行に 献身的努力希望

櫻井次官、關東廳

店主、劉九升翻長、其他農畑の人

會になって副ない。

の名誉ある戦死者を出したことは

者にさつて衷心か

のでに教育者會議が開催

君の主張が客れられなかつた事で奮闘されたに拘らず形式上諸闘攻撃全職員は機構問題につい

され高橋馬一郎少特が恰度本部に

間にて日浦前民の合同數理會を同時代の舊知の人々はその夜同

料整的改良によつて地方の産業は一半・非浦製倉井間 北安鎮附近には石炭、 ても自今第一線の治安確立に期

家も少く農業移住地さしては矢張 はれてゐる、南浦地帯に比して人 はれてゐる、南浦地帯に比して人

てゐる、今後の各縣参事官以行政 所、特に地方農村の自然館改良指 等に經濟條縣像の事骸に解通した を注ぐよりは網る產業方 を任命するここが先決問題であ

村を逃亡する計畫で目下各關係方官は五百月程度の邦人移住者受益

軒を述べた、尚は社長の馬占山 田領事、太田滿蝦所長等を懸訪 住宅地問題

◇都市の健全な みであつて

之に對了

般閑散

是 二月 1000 三月 1000 三月

転れば閑散保合、

全条(單位十錢) 一月 英古 英 節 一節二茲 節 一節二茲

七百燭、千二百燭

五百燭)內閣資源局推獎

室内(電燈の代り)工事用、 土木、軍隊、警察、鑛山、 土木、軍隊、警察、鑛山、

燃料は=ガソリン

油煙出ず悪臭なし 扱至極簡單

賣店募集

會社 杉山商店大連支店

大連に在庫豐富【カタログ呈】 電話七二九八番大連市山縣通八八

一件機論 二00

the Taste

回三番

日本各地名産

珍

初

電池

荷

三二二二五 四四五

包 米 出來不申

記 油 出來不申

記 油 出來不申

記 油 出來不申

記 油 出來不申

四名の戦死、三十七名の貧陽者 各地の匪賊を討伐したが其間二

-Gillette 最新の飛躍的進歩は

且つ各職前後し結論

諸株保合

位対け次年

遼西の文化 工作急務

される新行政區劃の吹變に伴ふ 【泰天電話】十二月一日より實 學科長は遼西地區七縣の地方概察と目されて居る教育概点 森田督學科長談

of

大山通

店

Joy

界各國酒類·食料品·

强精 補血 更 生素

料類料涂粉沁ア 毛 浪 越 洋 行 惠比頻町停留所前 電話長七

**当**征伐。急先峰 オセロ海巡察・30

油谷榮商店 1.00

受けたが、何等之を整理しやう さしなかつたのは遺憾である。 このやうな順性は公衆の集まる 場所では一定の場所に整列する やう充分削練する必要があるこ 思ふ。(大連一市民) ◆滿日紙十月二十六日、七日兩日

総に関し一言摩明致します。

し減することにお互が努力した人がその家屋の野茶な一貫気で

類れても危険なし、携帯自由電燈より便利

100 東新 三 盗 ・ 東新 三 盗 ・ 第一 1 三 盗

感じのよい强烈な乳白色・・

二十間先で新聞が讀める はロロロロ 

NO4

けてゐた土地で本年中

上事中
ど未着手
に對し

キ實行

を発送では、 を整数の取入れ一段深ついたのできた。 を整数の取入れ一段深ついたのできた。 を整数の下に第二点を変え、として、 を整数の下に第二点を変ないたのできた。 を変しなで、出記も五百餘転の所を確認。 を変しなで、出記も五百餘転ので、出記も五百餘転で、出記も五百餘転で、 を変し、として、 を変し、 を変し

に對する施設、企畫等は緊
雷局の

圖們建設事務所

牡丹江移轉

大體來月十日ごろか

金州殖產品評會

來月初め

一齊點燈

接換。 は緩西附屬地平康 は緩西附屬地平康 は緩西附屬地平康

頭照明

街が明るくなります

十一日賞褒狀授與式

幸促

関東端よりは日下内務局長代理 さして田中農林課長、撫順、善 を其地農會長の資格にて参列、 審査委員長總代こして関東驅機 審査委員長總代こして関東驅機 田技師審査報告かなし、山口民 政署長は各品評會々長ごして谷本 齢あり、受賞者代表こして谷本 齢あり、受賞者代表こして谷本 齢の子筋の私宴に移り午後二 終りて別席の祝宴に移り午後二 終りて別席の祝宴に移り午後二 と近点を禁。

【薩順】去る六月秋父御 御下賜品分配 秩父宮殿下

殿下の御來滿に際と御整衛に當 別金を賜つてゐたが關東顯では これが最も適切なる分配方法さ これが最も適切なる分配方法さ

されるはす 撫順でも傳達

野市 中野特を機関長、森岡郷銀事 リ吉林駅場に於て日浦要人を初め ご芸会式は恋々十一日午前十時よ

それは二道海より馬車な以て満 軍延率数が二一三五滅で之れが 軍延率数が二一三五滅で之れが ななしてゐるさ

十一日吉林で發會式

長、三浦。海湖海湖

な使り搬ふやう命令もたこころ第 大街道にある並木は今京非常に繁 大街道にある並木は今京非常に繁

とれが旅客戦入一萬七千六百八十 戦人二萬五千四百三十一圏に比ら 戦人二萬五千四百三十一圏に比ら

並木を切倒す

鞍山の巡回施療

好成績に終る

鳳城煙草檢收

尾崎氏急逝【秦天】率天

但し滿人婦人は皆無

**际民一同參加** 

警察官後援

復縣に新組織を決定

婦人會設立 営口官鹽輸送

る際ボロの土銀な遊舞する意味に ない、大で見れが後接會な組織する事は で、生命財産の保護な受けつ、あ の要論にして官民職者

税水源地に於て審食の後松朝山に はれた投谷部や粉添菱の粉核製史 はれた投谷部や粉添菱の粉核製史

戦史旅行

数一三七點に達さた

"

七寳の柱。公開

撫順選手決定

(可認物便郵種三第)

角田、池邊、愛甲、塔選手監督佐藤富彌、選 銀た髪しいよく、米る十四日より ・ 本事月常能とた驚地大衆座において陳 ・ 本事月常能とた驚地大衆座において陳 ・ 本事月常能とた、大谷日出夫、森静 ・ 大谷日出夫、森静 ・ 大谷日出夫、森静 ・ 大谷日出夫、森静 ・ 大谷日出夫、森静 ・ 大谷日出夫、森静 

慣出の空家を隱す氣の毒さ

冬枯れに朗かな便

銭で公開することになった

一 ることを繰りに口外せす、情主なとに能楽さんで自己の有利な方向に響きとて自己の有利な方向に響きとてものアパート、住宅、店舗等が完全に出来上れば更に載大なる反映をできない。

開原縣下の農

第6できものありて一般の眼を数時に厳馬さ蔬菜類はその進歩餐室

日四十月

貸付土地の取上げ

一病に惱む鞍山





教急自動車を奉天市政公署に置いた及急離のため特殊設備など



營口でも執行



果、それ一安局から十箇條より成る其取締合。 よの貿易。 新していよく、北平の社會局で公。 其の貿易。 新していよく、北平の社會局で公。 其の自己の主義。 大の中國

遼陽健康週間

連絡して複変甲十二百年前十一時 性質複変に向つた加古、山本の兩 氏が競馬場南側欄附近に尾崎氏が 打倒れてゐるのな数見属け出たの 下三浦司法主任、松屋大属は出たの 至のための別に外傷も紛失物ら ない事判明したが死後三十時間な ない事判明したが死後三十時間な

秋田一般神・ドストエフスキー論では分娩神・文・藝・神・論・版

ドストエフスキー論

小林秀雄續々文藝評論 河上徹太郎 自然と純粹病

たまりなまするすると 上徹太郎譯四六朔上黎二八章

(至安論)

アスエ 虚無の 創造の





滿洲日報社

膨胀に横極能活躍を始めた。 は人服かどんな新塾を産むかな。 を犯者は別金五元のお灸等々、さ を犯者は別金五元のお灸等々、さ 止、短衣で

北平で今寶出

で、その弟か大八重に兄の悩む が既に暴ばれ出し、今度はその 動が既に暴ばれ出し、今度はその 動が既に要ばれ出し、今度はその あか事にひかれて死んだ――本溪 ニ月程前上海に来て、支那態関の ニ月程前上海に来て、支那態関の 、 あらゆる機取を蒐案して熱心に成ったが、

まさい、手には長寒を持ち、 100円敷から縄で振へた古棺を養見に であるさ、 1000円敷から縄で振へた古棺を養見

最新刊 定属ニアニ

目錄 育 中越大第海呈來 振薦東京四八〇一〇帝 〇…「子供の嗜好な無視して

もご洋服のポケットさいかも

6のだけを適當に配置と物を入れないやうに

かやかに詰めこんでカンガルーでなる袋ではありません。何で

の外のご料見です。ポケットさ

日

そもり

へる方があるでせう。さころが世には何たる集階或ひは奇間でと考

そかにしてばなりません。ボケ

純日本式の優雅な衣裳、

ゆされてるた、 あの不能裁なも 自然で、これまで多く職業上カッラさいつたら、生人際が

が近ごろのモダン似さんは前髪 婚旅行へッ…



## 愚問と嗤ふ勿れ

ズボン尻使用はスリへの慈善家 サテ、その使ひ分は…

しいです上衣オーバー共に最られて入れるのが驚今の流行です。 と等(に隣る)の手数を指を上に

せいぜいメモ用のノー

方のない方の外はなさらないこと

て置くこさです。なるべくなら使

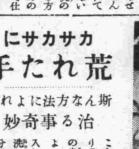
はない方がよろしいのです

オーバーの胸ボケ

の役目詮議

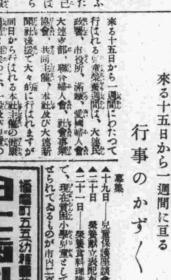
回動物など、中にはしおれ級のあ の右には机入れたお入れ下さい ヨッキ左上のポケットには定期 上衣の内側しれがついてゐる! か こきに必要なもので、その他のここれはチョッキ代用のデヤケッを養たい夏、或ひ

ざさ空りとく、 オク テはチョッキ右下です。チョッキは物を入れる所に定まつてる 左下には名削して、チョッキ なほ上表の左郷寒に大むれ小さいは電車の切符などな必要に應じて、 チはチョッキ右下です。チョッキ | て置くヤンキーばかりは便利なせ人もありますが、普通にはウオッ | 腱のボケットにパラ銭な裸で入れる人で、こゝにウォッチを入れる | きは使はない方がよろしく、左右 ズボンの方腰には遊があります、これはスリのための 然しこゝにその他いろり ボケットによく札入れな入れる方 ふくらませるのは、みつさもない



ばれよに法方なん斯 妙奇事る治 洗ってよく灌ぎ、水氣の無くなると 入れてよく温め、後良質の石鹼で輕く よいし、さ の良法は、お風呂から上つた後ならば 一個を皮のま、縛く切つて織に入れ、分に拭いて左のものをつけます。柚子 れからは手がカサカサに荒れてお困 の方が澤山ありませう。それに一番

入れて聞きます。これは質に効果のあるもので、注ぎ入れて弱火にかけ、一時間的素つめたものな めらかな手を保つここが出来ます。 注ぎ入れて弱火にかけ、一時間依着つめたものを稿で漂して器に自動脈五分をごくさつき摺つたものを加へ、日本漢をひたひたに 兒童榮養週間 又「女蠍通衞」の窓標女のなかで「は自蠍の中に轍込まれてゐるのだ。」はった云ふのでない。私たちの生活 つてゐる。個人の情趣に觀ることと個との接觸によつて生れるとい だ。社会性とは概念版に見きなこはもはや酵母にもゆるされないの



以ての外、色や繊繰いついたチョ

日に流徹した清潔なものな選ぶ

持ら続けてゐるのはもさよりで、湯いハンケチを三日も四

す。ハンケチは腕でわらうさ、

女の子ど衣裳

バリの専門家は斯う仰有る

の外側腕のボケッ

役割を申述べませう。 るが紳士の場だしなみで申す

イの本来の順目でもないのです

たらりご下げてあるなざは、決

○…バリの有名な必要ポエリサ 類の着物が彼女に一番よく似合ふ 行 単に当中になつてゐる時に、勉強 
つ…シャバレリ夫人は、女の見を持つ 
のだといふ理由を提慮してやつた 
然に 
た拠して所能がる着物 
方がい、。着物を選ぶ場合に自己 
大変物を無理にたべきせたり、他の 
ない」 
す 
な物を無理にたべきせたり、他の 
ない」 
す 
な物を無理にたべきせたり、他の 
ない」 
まいから症めておかればなら 
既 
す 
な物を無理にたべきせたり、他の 
ない」 
ない。

のみた人れるべきで、

が、なほ調査のようれ等の見重、株に膨動児童を救滅することに会 電話二九三六〇街 見が四五百

福屬町五五(幼稚園前)

のゲザインの名人さして知られて

関さ見の間の子見たいな一

地方に難し

は舒裘に輝する。このうち通場書は舒裘に輝する。このうち通場書は新妻と覧く、黄鳳狼皮にふ順位さなるか、最も軽温値で の類の皮を刺き合せて作つた機 ピーンポール、 キャットの艾虎

毛皮のいろう

主

ぞいたちの観楽皮(イン、シュー・アングシユ、ラング、ピー)ただいたちの茂風復皮(ホワング・ピー)たこ ・ 枚集めて歩さすれば紫貂(くろて ・ 大集めて歩さすれば紫貂(くろて ・ 大乗りて歩さすれば紫貂(くろて 皮(ホイ、シュ、ヒー)もんもん しかし内外さなく一般の好情は でいていればりずの灰景 がの背風皮 ろで、前者は紫金 ぬる演家交界地方町のタルバカンスト前の保有者として知られているにはまる。 様である。それから内地人の内に れな服すさ見えてゐる通り失張同 も、物の本に馬棚見に製し質者 の早獺兒皮(ハン、タ、

得意然さしてゐるのを好く見掛け の方で、支那人の前では除り威吸るが、これなざも同様下々の下品

有 兒 之 友 新聞有記入書会D

(9-A-12)

其他各地有名

平壤 三中井

京城

三越

北海道 丸井、 仙臺藤崎、

文藝時 個性につ

葵

は大事なこつて一日前に一度つ ればでき上りますが、結婚用の ればでき上りますが、結婚用の

のうへ根痛みもなく、脚ら

利一氏の長輪小説「紋楽」なざに

昭和の

(四)

剛髪娘さんも

艶な日本髪姿

カッラなつける前にそれだけのカッラなつける前にそれだけの要素に放行へ出かけられるさい いっぱま かっぱい カッラなさ

下さい。元本ご自分のポケットはっちなさる時はいづれルンペンの概き事類染みて本るここをお含み置き 袋だなどさは考へないで下さい。 處に何な入れやうさ所語は勝手な 荒郷、株(房)、株(美)、石城の

たちにまで利用される

の丸山亀子

な一般の衛生知識な普及せらめ、 な一般の衛生知究所では、またして不足の健康通問及び髪養調問が大々的に あこの十一月甲旬を機さして、滿るこの十一月甲旬を機さして、滿るこの十一月甲旬を機さして、滿るこの十二月甲旬を 實を學 保健衛生の 木曜講座の開設 一般に完成しやうさしてぬた。又、 なさけてしまひ、あるものは、 心 歌と迷ひな書いてあつた。 窓と迷いな書いてう? 「行動」の深田気徹氏の「通信」 こいふ小説をみると、その間の疑さいないがないないである。 態なもつてこの肚甲の文學への過 しようさし、あるものは通俗的に あるものは強いて青春の上

のを除職し、十一月二十二日(木)のを除職し、十一月二十二日(木)のない。今回木曜識座といふも を第一日さして毎週木曜日午後三 さか、近楼秋江さか、正完日島さらしてゐるのであらうか。彼等は はわかつてゐる。 に行くにはまだ経験と理智力も足 または谷崎潤一郎さかさいふ

こしてルソウの「気

來まい。ロマンチシズムな鳴へて 不願が概るのなごうするここも出 のなごうするここも出 フ的懐疑に身を委れて安閑と滿足く光明があるだらうか。シエスト 般論さしよう。青年はいまごうしから、若い時代をみるのには、一 だ明がわるだらうか。シエスト、 果して現實を遊離しないで行 さしてゐるか。藝術至上の夢 であるが、 0

して「編纂自傳」を場

活に較べて、一種の感慨なく

間か正直に自己な語

個めて困難なこ

な自叙像に於てさへ

かりのやうにじつさ身を覆めてるかうした土地を守るさいふこさはからした土地を守るさいふこさは 今日では、個性の問題はそのや 號の「改造」の交響時料で、生やさしいものではない。十 足する方便 間に入り込むた て、明確に時勢の要求を知覧し、に見える。こゝに、何人にも超さ 込むを許さなかつたやう その密直にして飾り無 面影な見るこさが出 で計畫したさころの奥

れば可能であられ

表である。 意物を打破し新文明の建して西洋文明に接し、時では、時間の を選びある。教訓や説教 は共に、青年選にさつて は共に、青年選にさつて 解する上に必護の施民が

小椒紫雄氏が、今日の性格の問題

野者に往々自ら懐託ない、自己の妨時の 識吉識が、その晩 明治三十二年に初版刊行以来、 明治三十二年に初版刊行以来、 から警及版(定價五〇銭)が刊行生験百年記念さして、時事新報社 生誕百年記念さして、時事新級社 人達の間に殆ど遭まれて居な を従順ではないであらう





放熟絕大

完全燃燒

燃料华减

操作輕便

構造堅牢

體裁優美

あらゆる

意匠登

「福翁自傳」その他 大連圖書館

の価性の成長な親切に見 して小説な書いてゆく (四) 動って行きつゝあるのだ。 飲意し や職さ、さいふやうなこさが出て、は、さころざころ、さうした人間 も知れのが、時代の求めるし、 のこさである。何の為に まい作品をつくるかは今は第二義 と」といふ最新では積極的な無機のこと、 機準氏も「風雨強かるべ 注意を受けてるる その他平田小六氏のものさ の月々の旅籍は相談らず 富士雄氏の「村の人々

評

1

ためのみが奥の新進代 低性の存在する場がち

るのは無理はない。現に、機光 さ子」(新潮)も力作である(売)の問題なざが、又新しく戯って なかつた。其他淺原六腑氏の「父かういふ駄からみれば、長龍小 人々に喝来されるさおもつて機れ

われり

ではない

人々に嘲笑されるさおもつて優れ し云ひたかつたが、この巧な小

なさつた。なは室生産星氏の丁輪 は上、自分の視角から批評の筆

学校本紙店へ

服征服

頭痛に

S

REFERENCE FOR FIRE

本館東京年込田端豐香

マニングクリ

要者職製品

恐れぬ …… 元氣なコドモ

**医天井紙** 

守ってくれ

れてはど

からだは厳、病を 小兒良藥の常用で 明朗健康 一人残らず……

丈夫なコドモ コドモ ば焼 意彦

鰻





實驗證明 最高權威

絶大の信用 本

松坂屋、高島屋 其他 伊勢丹 華天府春日町六 奉天府西大門邊外 大連市若狹町二 新京日本機通

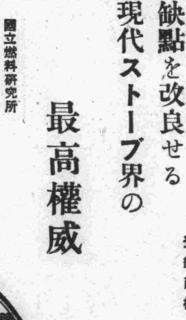
ほていや、美松、 白木屋、松屋、

大 實施之心實中與第一 大石機盤龍街 營口爾市灣 **純南原南南路東** 安東縣四番通 

水 植墨含安含社

ではませんて古地族形式では自身開地方の産を可じ 歌が意義、羊袋など

百貨店にて販賣す



社會資合。 市口川本日大。 元實養證

〇九四はノ十六(8分)

- [7] -

大手合戦譜三十局

ま 夫 も ま 四段 島村

大利大博丁

午前の部 ラデオ機嫌

か第二日に全部を行ふことに変数 に前ちず、今回に限り男子競技の

「陸上滿洲」の躍進めざまし

遠征記

新京百キロ (東京より)全國ニュー (平後六時一同十時迄)

八・二五 陸軍特別大演

二七间八•七三四九 六•八三

八・○○○(東京より)時報、全國 「百キロで同じ 「百キロで同じ」

中前の部 (10二)金子彦二郎 (10二)金子帝 (10二)

今日のプログ

特約に募集

平美層葉專門研究所平武男

**海整形** 

平皮膚科燈門

城(JOOKK)

ス、告知事項、

京(MTCKCY)

トコロベージンを話「世界

大・三〇一、技形、満級地方課

ち夜分眞の安眠をおらかにしますと血を取去り血を前め硬

へるものでせうか。 勿能に式出版 同許可されるか

雨が降ても

保けるべ体が 温さるべかが のでなるで 気をもも 脚にも

製造

機動進高段棋戰其公

2

顔の

なな

みにくい種々の斑點
きが切り傷痕しもやけ痕
鼻やけど痕
のが切り傷痕しまがした
を対痕
を対しるいれき痕しもやけ痕
を対しるが外の場合が外の場合がが、しまるがが、しまるがが、のでは、いるの痕が、いるの痕をできるがが、いるの痕を吹むる故美質治療薬として質問がらればまる。

・美庸となる、皮膚が著属のため小じわがなくなっ、皮膚が著属のため小じわがなくなった とり 日やける ニキビ 痕のしみ

美虐 治 3 **虐治療專門** ばか ゼ

漏

岩

にあらず。彼こそは 温健も、 らず。 痛みの宵越しを知ら ぬこれまた、 萬人が萬人驚く彼の の大の愛用者だく 筋肉の痛神 経 みの痛 肩腰のコリ 誇る健康! (主効) 疲れやコリや 故なきにあ 故なき 綱輝邊渡懿

臺灣特約販賣店(屬米图 帮贩工士管 五十

此の目的に於而は編モナールは合理分的治療劑にしてモルは合理分的治療劑にしてモルとネ同塩類の使用を激減し患く恢復し愉快等量は無い。 を以て推奨する所以なり

締と編モナー ルの対

那

モルヒニスムスの治療の

一度モルヒネ中毒に犯されたる者にモルヒネの供給を中断なり。所謂禁断時現象さして最初は悪寒戦慄頭痛眩暈食慾不進めらゆる全身的苦悶を訴不進めらゆる全身的苦悶を訴不進めらゆる全身的苦悶を引きる所の場合事めり以てモルヒニスの治療の如何に至難なる かを知るに足る

媽

福

ルに依り愉快自然裡に離棄せらる 其他塩類中 **Bin**  高粱は六割増

引上げ さなつたものが

そ 満洲國際標法繁七十條には の り商標の登録を受け本法施行の い 際現に其の効力を有する者、本 によりその登録を受け本法施行の によりその登録を出額するさき 南京政府の育機登録を受けるとので によりその登録を出額するさき 南京政府の育機登録を受けるもの によりその登録を出額するさき 南京政府の育機登録を受けるもの によりその登録を出額するさき 南京政府の育機登録を受けるもの によりその登録を出額するさき でによりその登録を出額するさき 南京政府の育機登録を受けるもの によりるのではよりでは、 におりるのでは、 によりるのでは、 にないる。 ・ にないる。 にない。 にないない。 にないない。 にない。

八百五 【整出電話一略和要線所では任堂 八百五 料表の東上を前に十四日午前十時一億四 社長の東上を前に十四日午前十時一億一 計画では、前役會論を開會・増重案申請書のでえれ、申選決定報告及小第一期で事態表の第一期で事態と

の結果改訂そのもの、質糖は極めの結果改訂そのもの、簡目も改まつて居り、そのをのとの、質糖は極め

のみならず親目そのものにも幾多大である。また今次の改正は秋率

(六)

貫際は引上

引下

北界の波紋

来るものご見らる

十三社の申合せ

で 首め各方面の資金需要増加のため に (武器警査金が上海に移動した關係 かつたためであり、総併金の減少

大手を振つて入り

一律背反のロジ

元 会留比 次介 一

日光は一三跳八後の連りも大きく完 日光は一三跳八後の連りなかるとれた 一三十銭戻しは相物足りなかの七個 一三十銭戻しは相物足りなかの七個 一三十銭戻しは相物足りなかの七個 一三十銭戻しは相物足りない本元とた 本大新が六個八十銭ご 本大新が六個八十銭ご 本大新が六個八十銭ご 本大新が六個八十銭ご 本大新が六個八十銭ご

老業立以 取引所創

今射越屋商后

境地を聞らればなります。わけ

市場相場 (十三百) 教継塊及爲替 一型性(大) 一型性(大)

巧妙な満洲國新關稅

輸出稅、轉口稅等にも大變動

一、増減中止生産制張及び反叉質申請する所あつた問統能法施行中に加へられたきい間統能法施行中に加へられたきい

大連より上京した二斉物産大連支る火災保険等に關する打合のため

場高を眺

ではあろふが▲根本的な射流は 一座サラリご捨て、質場を狙ふが 一座サラリご捨て、質場を狙ふが 一座サラリご捨て、質場を狙ふが 一座サラリご捨て、質場を狙ふが 一座サラリご捨て、質場を狙ふが 本面の延ご定期の常先ごも が、本根本的な影派は

申込送呈本於資之友

電長五四t 電長五四t

で 一、八五三四

印度麻袋 印度麻袋 一种的重積 三智比四分一 一种的重積 三智比四分一

東京株式

○神戸屋株式店

代表戦名は夕刻が

各社代表協議

況(十三百)

(価価価価価価価価で新株料 21年6 前場で 220 220 21100 220 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200 11200

F

萬屋

地番一目丁二町兜區橋本日市京東

三三三三 電 有具る查事内調 セーーー (六・リー) 備機報情外を セ三三三三三三六 まし 関導を提部 と〇五四三二一 でしてがすれ渡は

産

急遽新京へ

綿糸布組合長

議会な開いた結果小野田の脱法的

大連に設立

税は軽報の如く十五日を期して施一處分法さして今回の税率制定さな『新京十二日養國通』滿洲國新團』して居るに鑑み、之等過剰要粉の

丸ノ内火保協会

意見の交換

中一時 11英2 115010 10X00 土時半 11英0 10X10 10X

合糶延定

ät

三、二九〇枚

合理的利殖法

·位本客顧

殖やせ

働か

せ

かよ

皮屬

**済生医院** 大連市三河町二 大連市三河町二

门雪

病

院長

噍

尾

直人

綿袋が西

糸聢り

共他参考資料 無**料贈呈** 

大連

若狹町三(西通入口)

院

頭痛

ノーシン

C

登錄旣得權に

なものであるが、右規定は来る二 ト日以後に於ては効力を失ふので 野機権を持つ者の至急出離方が要。

十月末の帳尻

預金貸出共增加

製鋼所重役會

(2)

次尿器科 皮震施毒専門 レントゲン科

尾形醫

医学博士

質

洋服頻奮勞

放後屋質店

入院室完備 電せせた

十四日大連で

優先權附與

廿日迄に屆出を要望

電業會社々紋

滿洲鹽業會社

た前月末に比較するさ(単位于国) に比較するさ(単位于国) 通金 貸 出 協議すべく音が 種様各在較重役並に標準 でのご者 「風機を在較重役並に標準 でのご者 「風機を在較重役並に標準

力强く表象化

た輸入品は、

| 作および製物製作を向ける後来の | 一直に対しる | 一直に対して | 一面に対して | 一面に | 一面

事副島子八氏は理事長に昇格就任 大株理事長 「大株常務理 大株常務理

止安高寄

九九九六三元九九十三元〇 七二元元二元六三元五

海標金

| (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1

梁(出來不申)

水越株式店 大連抹張男人電長三八

上海医療法律内理 「上海十三日数」海外銀塊高ご制 日の氣配を受け機金下離れたるも 日の氣配を受け機金下離れたるも 変重には震物源、中央銀行は為替 変重なく察ろ安値調節質理意同あ り、花族銀行はボンドに質氣ある り、花族銀行はボンドに質氣ある

税は善は急げさ -- 満洲風の新聞

相場

務

業、造船業及附帶事業 物品販賣業、問屋業、 酒

運送業、

保險並に飢

正に船舶代理

所滿洲出張所 地

營口、安東縣、奉天、新京、哈爾濱

海外市況は論敦銀塊現物先物共一片四分一高、親育市場体會、海申大三個七〇、上海日本同百十七個を立て、近十八個臺、標金十元六安を変さダレ前日より六十五錢高に止めた。

名、應業學家七百六十六枚に遊ら 対企業集したこころ應業者四百一 が企業集したこころ應業者四百一 が企業集したこころ應業者四百一

| 「一日本 備 委員會で | 「一日本 備 委員會で | 「一日本 備 委員會で | 「一日本 備 委員會で | 「「一日本 情 委員會で | 「「「一日本 情 委員會で | 「「「一日本 情 委員會で | 「「「一日本 情 委員會で | 「「「一日本 情 委員會で | 「「「「一日本 情 委員會で | 「「「「「」」」」」 | 「「「「「「」」」」 | 「「「「「」」」」 | 「「「「」」」 | 「「「「」」」 | 「「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 右につき更に來月甲に準備委員會 蘭印側が要求 輸入税引下げ

は右は不常な高率に非ざる旨を答って、 日午前離田、ヘルデレン全談で順一人にことを要求した、 離田總領事 

て強調に越月し に越月もた而もて黄年に比も

◆…満洲國は獨立國だから關稅自 はこれから。 はこれから。

いふべきだが、うるさいのとは、漸洲國政府出かした

式水產新新新新級

秦 天 (奉 天)

ション 現物 原列 現物

192.50

目

日 職石類、鹽、紙類、燐寸、ゴム原料、酒精其他工業藥投 ト、木材、建築材料、糸織物類、硫安其他化學肥料、 機械、金物、麥粉、麻袋、其他麻製品、小野田セメント、木材、建築材料、糸織物類、硫安其他化學肥料、 漁川特産物、石炭、ガリリン其他石油製品、鐵道用品 高洲特産物、石炭、ガリリン其他石油製品、鐵道用品 加助珠、其他食料品

土日鐘東大同滿電錢新五

株式 出來 高(十二日)

株式 出來 高(十二日)

株式 出來 高(十二日)

株式 出來 高(十二日)

大連卸賣相

大豆僅かに減少

下旬央に発るや新数 実値を以て魅月した 東値を以て魅月した 東に発るや新数

一 大荷少量、相場は、内地物、 一 大荷少量、相場は、内地物、 一 七個、人荷個數地物五、二五六、 一 七個、人荷個數地物五、二五六、 一 大地物(十三日東十貫建單位側) 本地物(十三日東十貫建單位側) 本地物(十三日東十貫建單位側) 本地が(十三日東十貫建單位側) 本サワラニ〇十一五△大エセニ イル〇一五五△生ニレー八十九























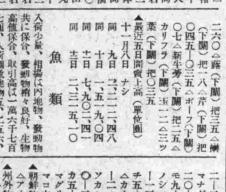














## 

011,811

サッポロビー!

油

構誌

サヒビー

仝白ビー

全黒ピー

墁

誌

其他各種清

涼飲

料

味

料

大連市監部通

嘉納合名會社大連支店

電話性

Eo

0-























## **一月大連特產市況**

奉天の傳達式 賜記念品

**美國通** 秋父宫

新京へ移葬合祀

奉天から千三十五體

天佛子夫人で親戚、夫人は牧野、ましく湖るという老婦人があつたが牧野内大臣のであった、夫人は頃を伏せてつた。老婦人があったが牧野内大臣のであった、夫人は頃を伏せてつた。ましく湖路のは、ましく湖路の日も風の日

をお前りいたしてぬます をお前りいたしてぬます をお前りして陛下の御安泰 をお前りして陛下の御安泰

**至滿中等學生が** 

献上の繪畵完成

荒木十畝書伯歓びを語る

牧野內府夫人

神宮に日参

聖上御安泰を祈願

の場で、群島帰職の傷痍軍人五百年を賜ひ更に御野党所附近に監州

元帥陛下

幼年、士官爾校生らに

御菓子を賜ふ

者には一端二十圓、二端五十圓一物語つてゐる、これを大連共同墓―三一〇圓に過ぎなかつた。ある、市では市設共同墓地の使一無揉を濃厚に抱きはじめたこさな「餌ち闌束飜より移籤當時は使用の微増さ云ふ興味ある理象」 の満洲を境墓の地さして安住する (十月定) 三 大、80

五倍以上の凝増を示してゐる。右につき十三日天戦町三八常安寺をは、ば左の如く語る 華數 約十萬、使用料金約

一次では来る二十二日 次では来る二十二日 次では、東京の報酬があった地域の報酬があった地域と 平齊線傅家屯

を墳墓の地

に於て午後七時五十六分養ご三等 ・ 機の風水器に一番大切な方紋中央 機の風水器に一番大切な方紋中央 ・ 大男十七日大連な出続して大阪で うらる丸入港 シャンになって

に疑似ベスト

滿洲建國以來激增した:

共同墓地の使用者

哩

大連賞業相撲 『大阪特 ・ 製造士一行は十三日融戸出帳のた ・ 製造士一行は十三日融戸出帳のた ・ 製造士一行は十三日融戸出帳のた

十三日大連へ

本欄朝刊、

部域に禁縛をなる後いて大連新聞」せた 状況を踏る戯あり、次に石本総務 て高等 夢の上約二十分に取り遺職密時の 村山郡 子佐美、竹中各在連理事で會見挟において八田副總裁、山西、山崎

大連神社参拜の後

村上氏本社を訪問

鄭重なる謝辭を述ぶ

引續き滿鐵其他市內各所を歷

關釜連絡船

技術は卅年の經驗を有

へてあります

昌慶丸の事故

英船に觸れ引返す

郷で、郷野主幹から、郷で、郷野主幹から

一様の御期待に副ひたいさ考し、これでは、

で高等小學校の一時別かを申合村山郡町村長会の必作對策協議会

和人と検渉を述べた(寫真は本社 前の配念撮影、中央帽子な手にせ るは村上氏)

H 報廣 告

を致します精々御利用願います 夕刊共特別廣告の御取扱ひ

\*\*\*\*\*\* コスコンニングンスコロ (本語を) 見らり

生織、近代、織、

調、近 ど色に

N GINETHIN

洋服の御用命は連鎖街マツヤ洋服店へ





核と虎眼を

療を受けた上公 へられた御同情 へられた御同情

7 【下開十三日登画通』十二日午後 の艦首に接觸右舷プリッチを提像 一 本解性を航行中暗夜の為投錨中 開発連終艦さして初めての衝突事 一大 百木解性を航行中暗夜の為投錨中 開発連終艦さして初めての面外事 一大 百木解性を航行中暗夜の為投錨中 開発連終艦さして初めての面外事 一大 百木解性を航行中暗夜の為投錨中 開発連終艦さして初めての面外事

電話の二九九番

院す

のこる人等灸治。 山口縣瑠璃山莊

傷病兵各位は無料豐田玄妙子

お處 運 勢 判 **参料金初回** 

二十一日迄

響き三日間に直る漢書の歌を閉ち いて大演智観兵式が駆行され幸、十四日は高略職隊棟兵場

传統武官はを御召になり「搭乗者」の後午後九時大本蟹の大元嶋陛下神程浄賦に不時暫せるを御電遊げ をの総監本部は庭々緊張、開院銀行程浄賦に本時暫せるを御電遊げ をの総監本部は庭々緊張、開院銀上の戦機御滅表の際東軍飛行機が 近番は感激恐懼した、角ほ十二日上の戦機御滅表の際東軍飛行機が 近番は感激恐懼した、角ほ十二日

かつたか、機能はごう

に拜講奏上遊ばされたが陛下にはの後午後九時大本警の大元帥陛下

遊ばさ

変勢の御機機なく一同感激した 連日の御統監にも揃らす些から

本職監通信社長全成験男ペシ外ニを監査信託長全成験男ペシ外ニを監査をゆすった悪徳郷護師着日

叭響~

鞭行公判で高井椒繁官から左の如名にか、る恐鳴事件は十二日午後 田中義男の三四)川嶺前小學校是宅に一夜を明る今成政男の三五)十六番地(朝刊庫山麓は翻訳)

『前橋十三日養属通』解毛平野に一於ける陸軍大演習は十三日未明朝 きのふ大演習終了 れたが立川署長以下企署員五百

九十九名は見事なカフスボタンた、池帯は各金一封を拝受して有職き 十月住宅難の程度は多少緩和された通じて建築された家屋は七百三 ○○○團凱旋

奉天糸房の

である に懸きないれ大満洲國帝政實施 に懸きないれ大満洲國帝政實施

支部一齊に「赤十字デー」を駆行し間日本全國及び滿洲委員本部同日間日本全國及び滿洲委員本部同

赤十字事業の徹底さ で、関際税着の質を

投出す

威心な巡査

局の資桑平檢疫課長は御自信競族な揚げてゐるので、

茶井三)

して「病人があつたのかれ、

多く滿頭沿線の小脚

對して

へ云はれるの

地方部に於ては最近特に衛生方面 かても平地一〇%満人に於ては約 三〇%の多數を占めてゐるが滿嫩 地方部に於ては最近特に衛生方面

高いてあるが武・大変の上に作さして平 を設置すべくは下具性変のを を設置すべくは下具性変のを が優めて氣軽に健康の概 が優めて気軽に健康の概 が見かりを がしかりを がしかりを がした。 をした。 がした。 がした。 をした。 がした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。

満鐵地方部が相談所を<br />
設け

來年から積極的に

満洲國攪亂に

兵の出發 十七、八兩日午後

旅館と結託して

新築家屋

合計七百三十戶

ハルビンの

に限つてあるが本年度の金速繁排一様で出妻することになった 継常と家覧の騰嚢で市民は住宅離 十七、八階日午後三時出帳。 十六、七の明日大連に到着歌定の十六、七の明日大連に到着歌定の 八兩日午後三時出帳の特別

東事分館では戦

つて下さいして六回

一人一萬元を貰

怪漢忍び入る 京方面に

並に七五三祝祭 大連神社月次祭

げたので、トンダ誤解を揺い吹正に氣づかずwの信號跳を

船の萬國信號は本年一月改

旣製洋

\*\*\*\*\*

は西村

洋股店

よく調べて見る

以前の規則によるでW

け事能しつゝ

小學生の献金に

十五日から

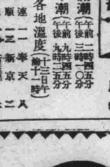
今年も盛大に



干潮(午後)二時四五分 風の西北











でございます 恒例御待ち兼ねのス 御立ち寄り 願ひます セ

療生 器枚 医衛

番三五六五話電目T一町使浪市僅大

远海蟹船鼓出机

ント薬から飲みよい

劑

音洋

副作用絶對になり

黎井、試錐工事應需地下水の調査、鑑定

零二六五四四番

鑛

業

所

株式會 社

麒

麟

麥酒

由

雪

(86)

B

案

道軒圓

王

演

回回度

多

鉤な盗む